

2019 年度

『授業改善のための学生アンケート調査』
の結果および評価報告書
(前期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	1
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	1
2. 調査の実施方法	1
3. アンケート回収結果	1
4. アンケート調査票	2
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	4
6. 教員返却用集計フォーム	5
II. 集計結果について	7
1. 全科目の単純集計結果について	7
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	10

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学に課せられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく、教育方法改善委員会のもとで2009～2018年度に引き続き2019年度も、開講されている全授業科目を対象にアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2019年度前期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告いたします。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：調査票アンケート用紙を配付・回収
- (2) 調査期間：2019年度 前期 6月第5週（6月24日～29日）
- (3) 調査対象：前期開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含む全ての授業）
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。学生の講義選択動機、受講姿勢、授業評価などに関する「選択式質問 20項目」と「自由記述欄 3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1、表2の通りです。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)	(E)対象科目受講者数	(F)実施科目回答者数	(G)回答率(F/E)
(1)語学	17	17	100.0%	297	242	81.5%
(2)社会と文化	24	24	100.0%	1,105	833	75.4%
(3-1)専門基礎講義科目	6	6	100.0%	472	324	68.6%
(3-2)専門基礎実習科目	8	8	100.0%	225	176	78.2%
(4)専門関連科目	34	34	100.0%	1,812	1,175	64.8%
(5)商学科専門科目	35	32	91.4%	764	476	62.3%
(6)観光産業学科専門科目	19	19	100.0%	433	302	69.7%
(7)専門キャリアアップ科目	17	16	94.1%	580	343	59.1%
(8)教職に関する科目	8	8	100.0%	80	70	87.5%
(9)留学生プログラム	5	5	100.0%	38	34	89.5%
合計	173	169	97.7%	5,806	3,975	68.5%

表2 授業科目カテゴリー別学年別回答者数内訳

授業科目カテゴリー	1年	2年	3年	4年	留学生	無回答	合計
(1)語学	191	45		2		4	242
(2)社会と文化	732	23	34	23		21	833
(3-1)専門基礎講義科目		301	13	2		8	324
(3-2)専門基礎実習科目		164	4			8	176
(4)専門関連科目		666	310	127	23	49	1,175
(5)商学科専門科目			389	74	4	9	476
(6)観光産業学科専門科目			244	32	22	4	302
(7)専門キャリアアップ科目		65	231	39		8	343
(8)教職に関する科目		45	13	8		4	70
(9)留学生プログラム					34		34
合計	923	1,309	1,238	307	83	115	3,975

授業コード 科目名

Q 2 1 この授業でとくに良かった点は何ですか。

--

Q 2 2 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

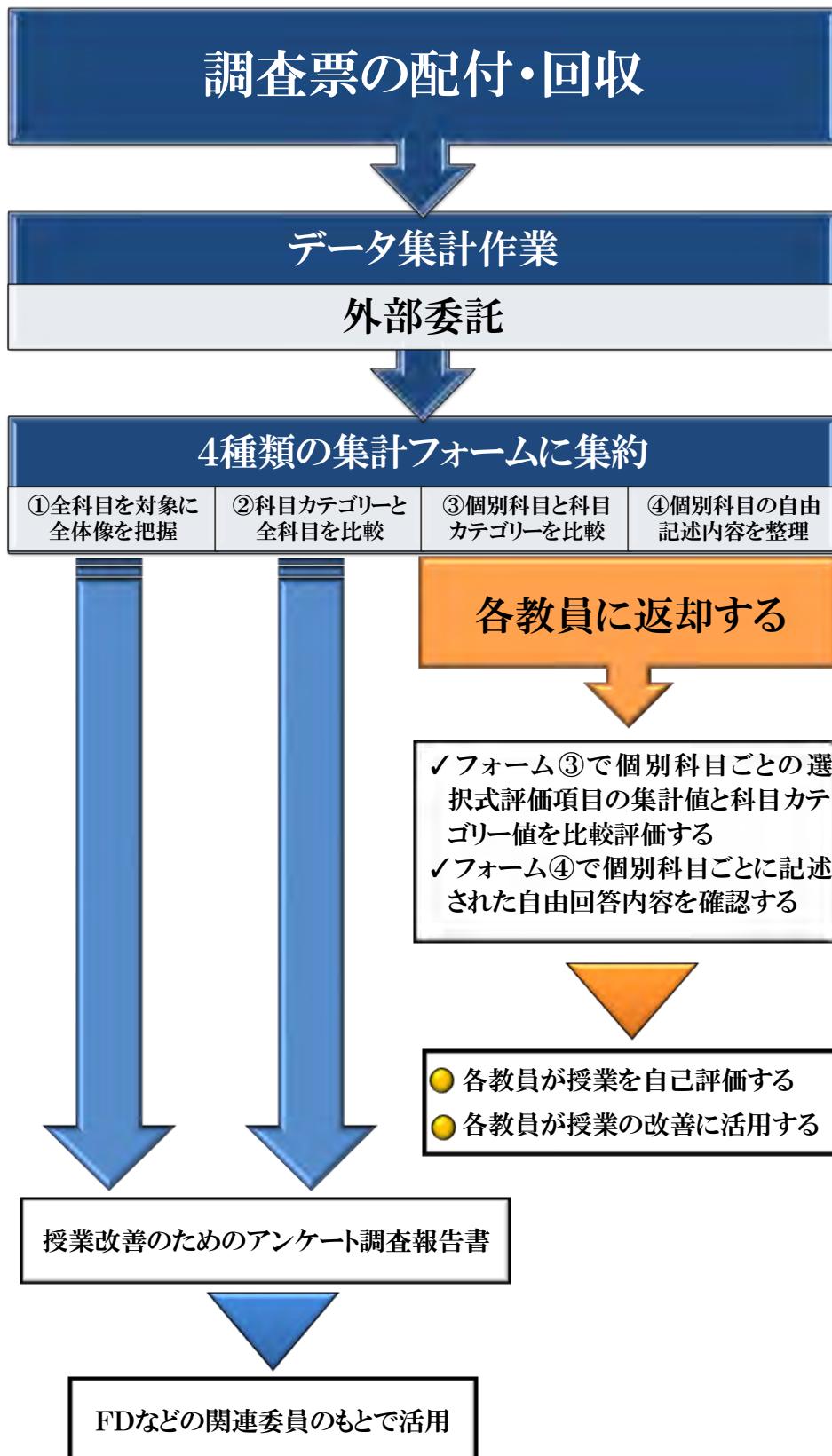
--

Q 2 3 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご注意ください。)

--

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



授業アンケート結果集計表

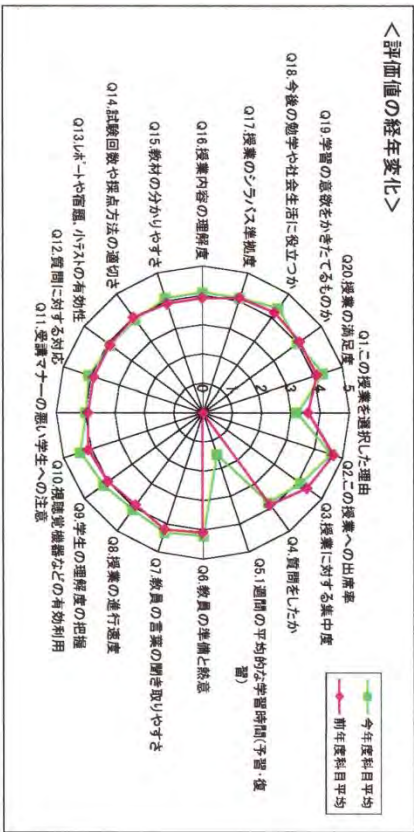
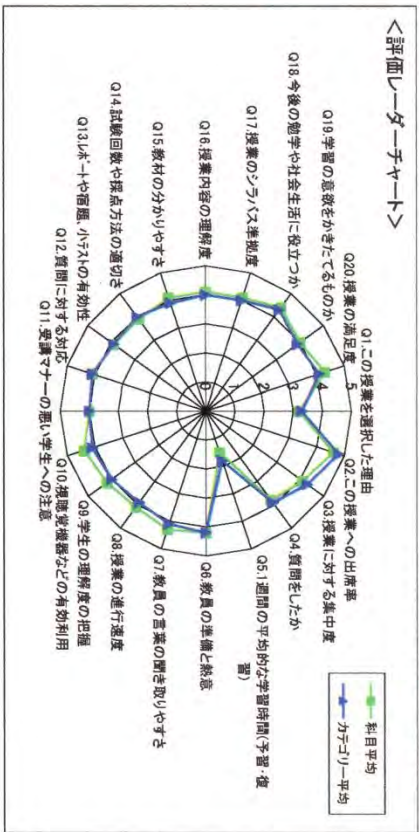
(教員返却用集計フォーム③サンプル)

20XX年度前期 北海商科大学

教員名	(教員コード) 教員名	履修者数	XX名
科目名	(科目コード) 科目名	回収数	YY枚
カテゴリー	(カテゴリーNO) カテゴリー名	回収率	ZZ.Z%

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1		
01. この授業を選択した理由	0	3	13	0	0	3.2	3.3
	0.0%	18.8%	81.3%	0.0%	0.0%	0.39	0.57
02. この授業への出席率	9	7	0	0	0	4.6	4.8
	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.44
03. 授業に対する集中度	2	14	0	0	0	4.1	4.3
	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.33	0.79
04. 質問をしたか	2	11	1	2	0	3.8	3.9
	12.5%	68.8%	6.3%	12.5%	0.0%	0.81	1.03
05. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	0	1	3	10	1	1.5	1.8
	0.0%	6.3%	18.8%	62.5%	6.3%	0.89	1.30
06. 教員の準備と熱意	6	7	3	0	0	4.2	4.2
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.94
07. 教員の言葉の聞き取りやすさ	7	6	3	0	0	4.3	4.1
	43.8%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.75	0.96
08. 授業の進行速度	6	6	3	1	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.90	1.00
09. 学生の理解度の把握	6	7	3	0	0	4.2	4.0
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.98
10. 視聴覚機器などの有効利用	8	6	2	0	0	4.4	4.1
	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.70	0.84
11. 受講マナーの悪い学生への注意	4	7	4	0	1	4.0	4.0
	25.0%	43.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.78	0.88
12. 質問に対する対応	6	6	4	0	0	4.1	4.1
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.81	0.91
13. LP-トや宿題、小テストの有効性	3	8	3	1	0	3.9	3.9
	18.8%	50.0%	18.8%	6.3%	0.0%	0.81	0.91
14. 試験回数や採点方法の適切さ	3	9	4	0	0	3.9	4.0
	18.8%	56.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.66	0.90
15. 教材の分かりやすさ	6	6	4	0	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.78	0.91
16. 授業内容の理解度	5	7	4	0	0	4.1	4.0
	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.75	0.91
17. 授業のシラバス準拠度	3	9	2	0	2	4.1	4.0
	18.8%	56.3%	12.5%	0.0%	12.5%	0.59	0.88
18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	9	5	2	0	0	4.4	4.3
	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.71	0.85
19. 学習の意欲をかきたてるものか	3	10	3	0	0	4.0	3.9
	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.61	0.89
20. 授業の満足度	8	5	3	0	0	4.3	4.1
	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.77	0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



6. 教員返却用集計フォーム

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

自由記述一覧

(教員返却用集計フォーム④ サンプル)

20XX年度前期 北海商科大学

教員名： (教員コード) 教員名

科目名： (科目コード) 科目名

Q21 この授業でとくに良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	配布プリントがとても見やすく、理解しやすかった。また授業もわからない部分はしっかり教えてくれた。

Q22 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

Q23 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご留意下さい。)

項番	内 容
1	XXXXの資格を持っていたら、単位認定などの優遇があれば良いと思う。



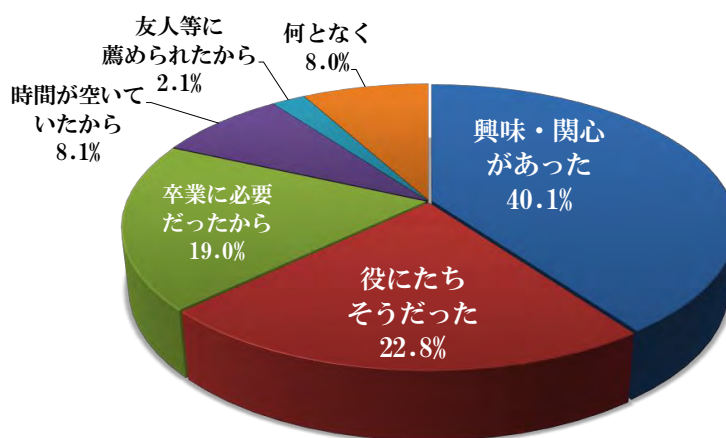
II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

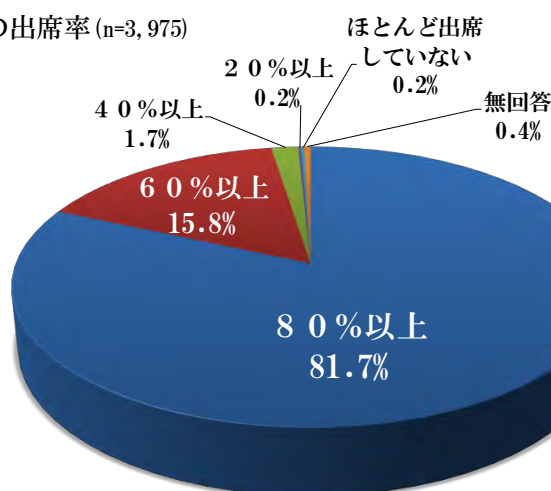
ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1、Q2)

Q 1. 授業を選択した理由 (n=3,975)



Q 2. 授業への出席率 (n=3,975)



(2) 学生の受講姿勢 (Q3～Q5) と授業評価 (Q6～Q20) について

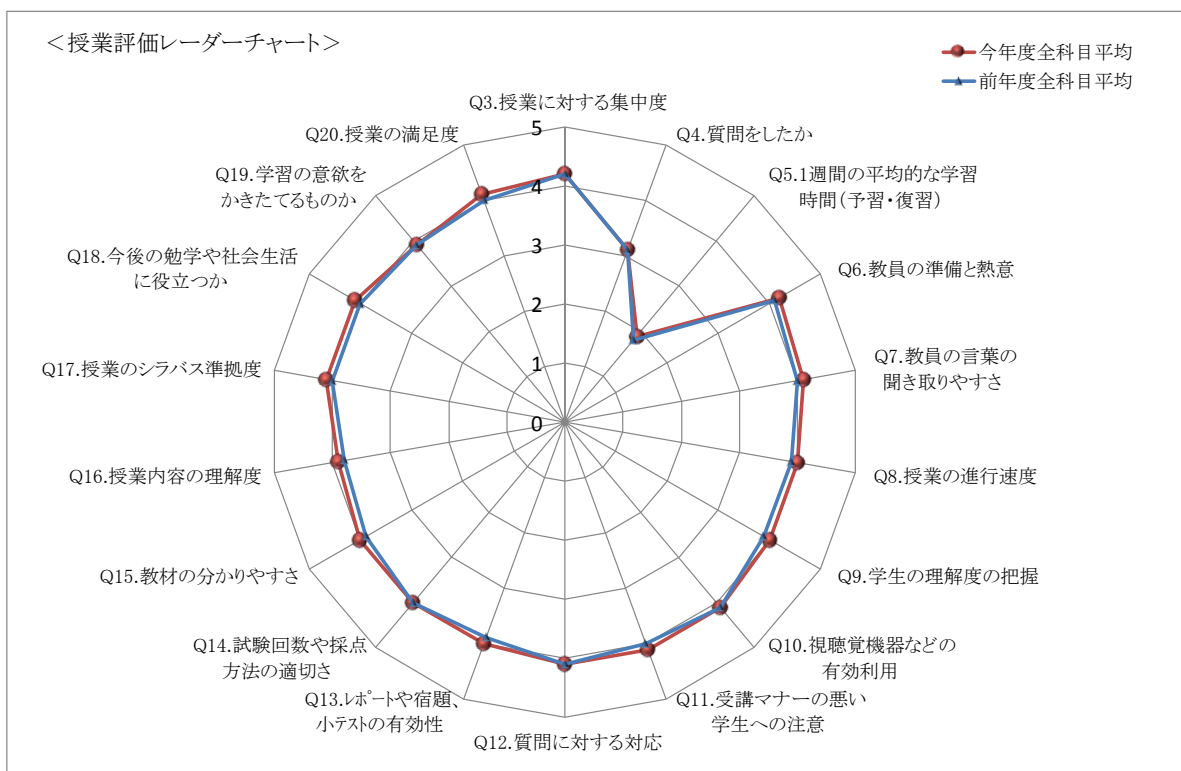
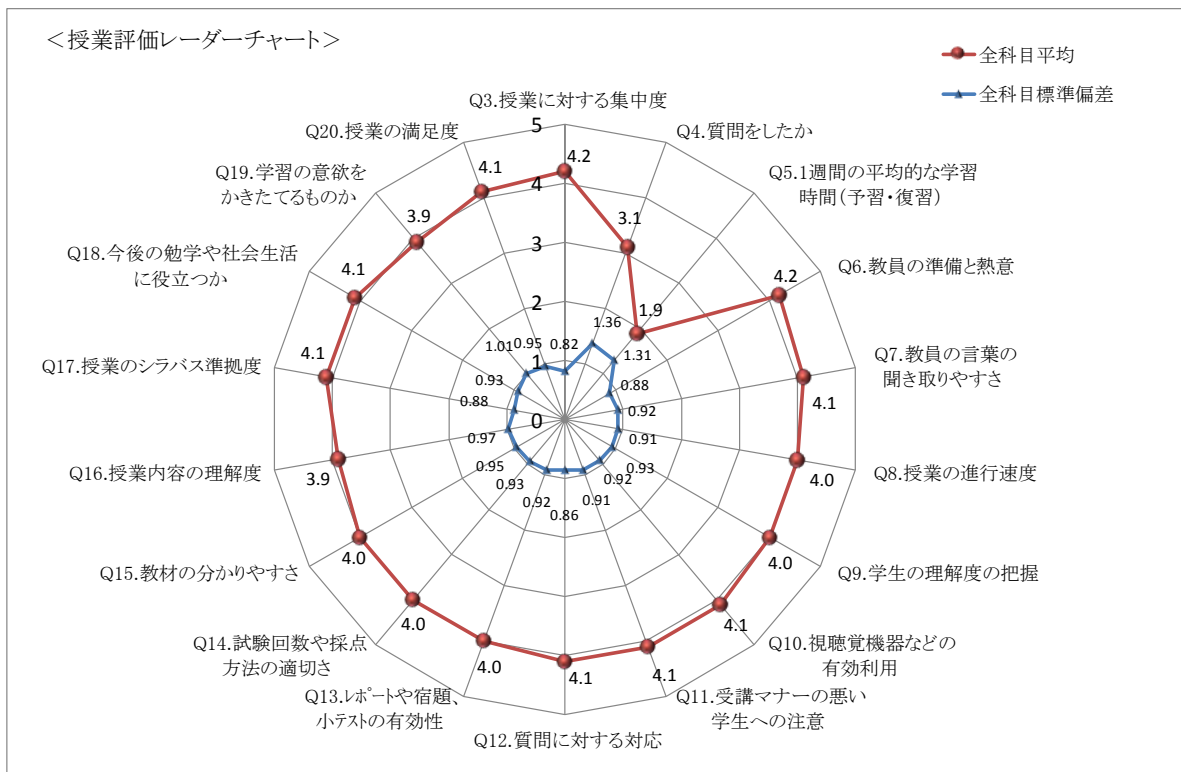
Q3～Q5までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は全科目の平均で「4.2」でしたが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、「3.1」でQ3に比較すると低い値であり、積極性に問題点がありそうです。一方、学習に対する主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」では、「1時間未満」とした回答が56.2%と最も多く、以下「1時間以上2時間未満」が18.3%、「2時間以上3時間未満」が9.0%と続き、「4時間以上」は回答者全体の9.5%に止まりました。このことから依然として全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4、Q5については、標準偏差が1.36、1.31であり、他

の質問項目に比較して大きいことから、受講姿勢には個人差がみられます (p.9 参照)。

Q6～Q20 までの授業評価については以下の通りです。「Q16. 授業内容の理解度」「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」の平均値が「3.9」、「Q8. 授業の進行速度」「Q9. 学生の理解度の把握」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」「Q15. 教材の分かりやすさ」の平均値は「4.0」でした。その他の項目では、「Q6. 教員の準備と熱意」が「4.2」であった以外は、いずれも「4.1」でした。結果として、多くの項目で今年度の全科目平均は、前年度全科目平均を上回りました。なお、各回答のバラツキを表す標準偏差は、Q4 と Q5 以外は概ね「0.9～1.0」の近傍にあり、質問項目間で大きな差は認められません。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	全科平均
Q3.授業に対する集中度	1,514	1,774	487	100	39	61	4.2
	38.1%	44.6%	12.3%	2.5%	1.0%	1.5%	0.82
Q4.質問をしたか	706	845	1,029	478	716	201	3.1
	17.8%	21.3%	25.9%	12.0%	18.0%	5.1%	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	376	179	356	728	2,235	101	1.9
	9.5%	4.5%	9.0%	18.3%	56.2%	2.5%	1.31
Q6.教員の準備と熱意	1,702	1,314	750	66	48	95	4.2
	42.8%	33.1%	18.9%	1.7%	1.2%	2.4%	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	1,623	1,310	804	110	55	73	4.1
	40.8%	33.0%	20.2%	2.8%	1.4%	1.8%	0.92
Q8.授業の進行速度	1,404	1,328	990	94	52	107	4.0
	35.3%	33.4%	24.9%	2.4%	1.3%	2.7%	0.91
Q9.学生の理解度の把握	1,437	1,328	925	92	66	127	4.0
	36.2%	33.4%	23.3%	2.3%	1.7%	3.2%	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	1,680	1,241	819	82	57	96	4.1
	42.3%	31.2%	20.6%	2.1%	1.4%	2.4%	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	1,578	1,249	881	73	48	146	4.1
	39.7%	31.4%	22.2%	1.8%	1.2%	3.7%	0.91
Q12.質問に対する対応	1,557	1,315	811	36	38	218	4.1
	39.2%	33.1%	20.4%	0.9%	1.0%	5.5%	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	1,330	1,212	1,071	75	49	238	4.0
	33.5%	30.5%	26.9%	1.9%	1.2%	6.0%	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	1,376	1,136	940	58	56	409	4.0
	34.6%	28.6%	23.6%	1.5%	1.4%	10.3%	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	1,402	1,235	1,019	105	64	150	4.0
	35.3%	31.1%	25.6%	2.6%	1.6%	3.8%	0.95
Q16.授業内容の理解度	1,301	1,296	1,057	131	88	102	3.9
	32.7%	32.6%	26.6%	3.3%	2.2%	2.6%	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	1,424	1,185	892	39	36	399	4.1
	35.8%	29.8%	22.4%	1.0%	0.9%	10.0%	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	1,526	1,242	887	68	71	181	4.1
	38.4%	31.2%	22.3%	1.7%	1.8%	4.6%	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	1,390	1,179	1,053	92	119	142	3.9
	35.0%	29.7%	26.5%	2.3%	3.0%	3.6%	1.01
Q20.授業の満足度	1,534	1,269	900	74	85	113	4.1
	38.6%	31.9%	22.6%	1.9%	2.1%	2.8%	0.95

一方、Q21～Q23 の自由記述欄への回答に関しては以下の通りです。「Q21. この授業で特に良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で 898 件の回答があり、前年比で 108 件減少しました。また、「Q22. この授業で特に改善して欲しい点は何ですか」の問いに関しては、回答が 350 件で Q21 の約 39.0%に止まり、前年度比で 60 件減少しました。



他方、「Q23. その他の意見・要望があれば記入してください」については151件の回答が寄せられ、前年度から47件減少しました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において個別にコメントされます。

なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業改善に向けた参考資料として活用されます。

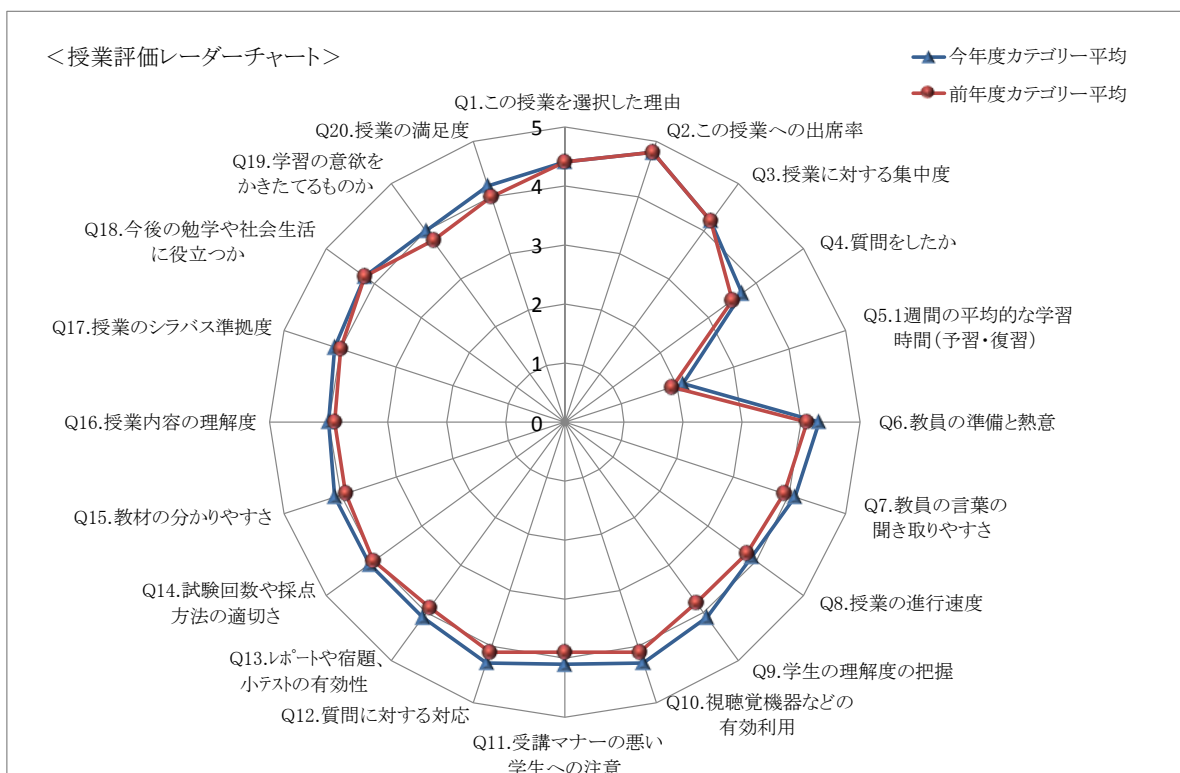
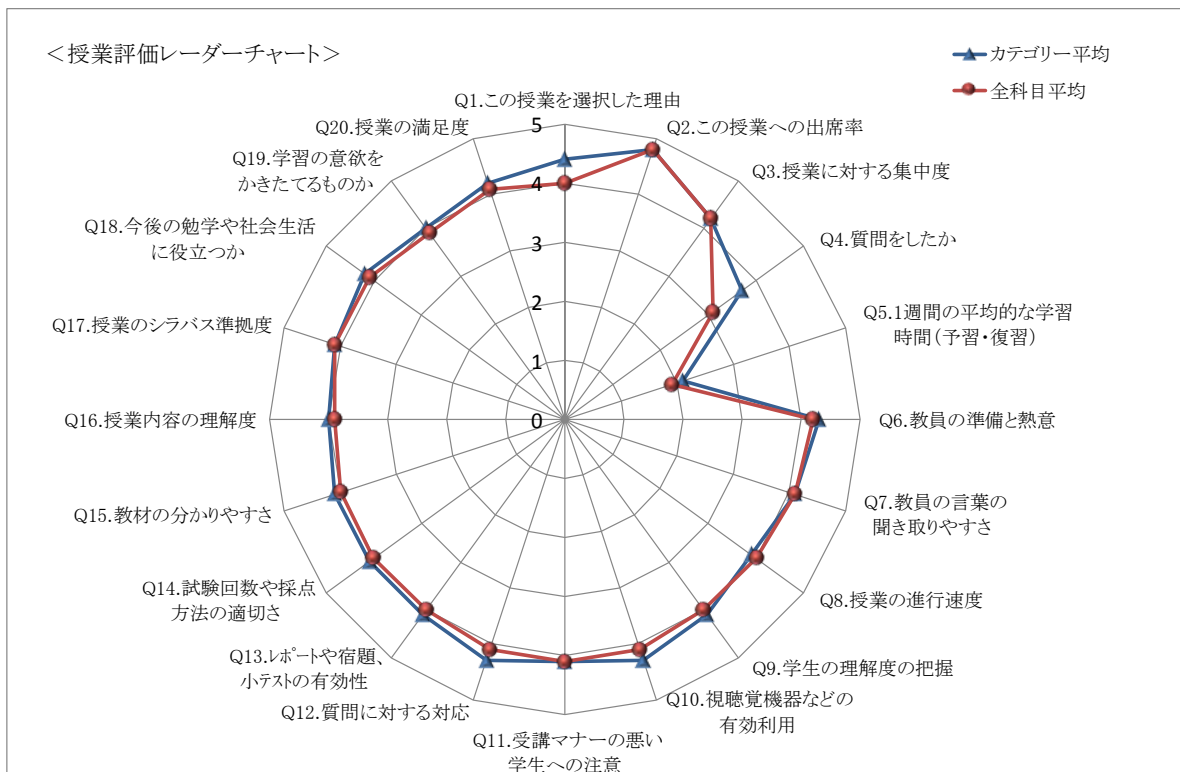
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。なお、「留学生プログラム」カテゴリーは検討対象としていません。

<異文化交流科目：語学>

異文化交流科目のうち語学における「授業評価」の全体的な傾向は、「全科目平均」よりもほぼすべての項目で、わずかではあるものの上回っています。「前年度カテゴリー平均」と比べても同様です。他科目との平均でもっとも異なった点は、「Q4. 質問をしたか」です。3年連続でこの項目がもっとも高く、今年も上昇しています。少人数教育の特性を生かし、教員が質疑応答と反復練習を組み込んだ講義展開をしていることが要因でしょう。その他、「Q9. 学生の理解度の把握」や「Q12. 質問に対する対応」も前年度カテゴリーよりも目立って上昇しており、双方向の授業が確立していることが裏付けられると言えるでしょう。また、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」の項目も高くなっており、この点については自由記述に多くの肯定的意見が書かれていました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	113	78	25	1	1	24	4.4	4.0
	46.7%	32.2%	10.3%	0.4%	0.4%	9.9%	0.74	1.09
Q2.この授業への出席率	206	32	2	1	0	1	4.8	4.8
	85.1%	13.2%	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%	0.42	0.48
Q3.授業に対する集中度	91	113	25	6	2	5	4.2	4.2
	37.6%	46.7%	10.3%	2.5%	0.8%	2.1%	0.79	0.82
Q4.質問をしたか	50	98	50	33	5	6	3.7	3.1
	20.7%	40.5%	20.7%	13.6%	2.1%	2.5%	1.03	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	20	10	30	92	87	3	2.1	1.9
	8.3%	4.1%	12.4%	38.0%	36.0%	1.2%	1.18	1.31
Q6.教員の準備と熱意	117	82	32	3	0	8	4.3	4.2
	48.3%	33.9%	13.2%	1.2%	0.0%	3.3%	0.76	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	100	81	46	6	4	5	4.1	4.1
	41.3%	33.5%	19.0%	2.5%	1.7%	2.1%	0.92	0.92
Q8.授業の進行速度	78	88	58	9	6	3	3.9	4.0
	32.2%	36.4%	24.0%	3.7%	2.5%	1.2%	0.97	0.91
Q9.学生の理解度の把握	95	88	42	10	5	2	4.1	4.0
	39.3%	36.4%	17.4%	4.1%	2.1%	0.8%	0.96	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	117	86	34	1	1	3	4.3	4.1
	48.3%	35.5%	14.0%	0.4%	0.4%	1.2%	0.76	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	84	97	51	5	2	3	4.1	4.1
	34.7%	40.1%	21.1%	2.1%	0.8%	1.2%	0.85	0.91
Q12.質問に対する対応	114	81	40	0	1	6	4.3	4.1
	47.1%	33.5%	16.5%	0.0%	0.4%	2.5%	0.77	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	87	93	48	4	0	10	4.1	4.0
	36.0%	38.4%	19.8%	1.7%	0.0%	4.1%	0.80	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	93	85	50	2	3	9	4.1	4.0
	38.4%	35.1%	20.7%	0.8%	1.2%	3.7%	0.86	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	97	91	42	8	2	2	4.1	4.0
	40.1%	37.6%	17.4%	3.3%	0.8%	0.8%	0.88	0.95
Q16.授業内容の理解度	84	93	49	7	7	2	4.0	3.9
	34.7%	38.4%	20.2%	2.9%	2.9%	0.8%	0.97	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	81	83	52	3	1	22	4.1	4.1
	33.5%	34.3%	21.5%	1.2%	0.4%	9.1%	0.83	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	103	89	40	3	3	4	4.2	4.1
	42.6%	36.8%	16.5%	1.2%	1.2%	1.7%	0.85	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	86	78	58	6	9	5	4.0	3.9
	35.5%	32.2%	24.0%	2.5%	3.7%	2.1%	1.03	1.01
Q20.授業の満足度	102	84	41	6	4	5	4.2	4.1
	42.1%	34.7%	16.9%	2.5%	1.7%	2.1%	0.91	0.95



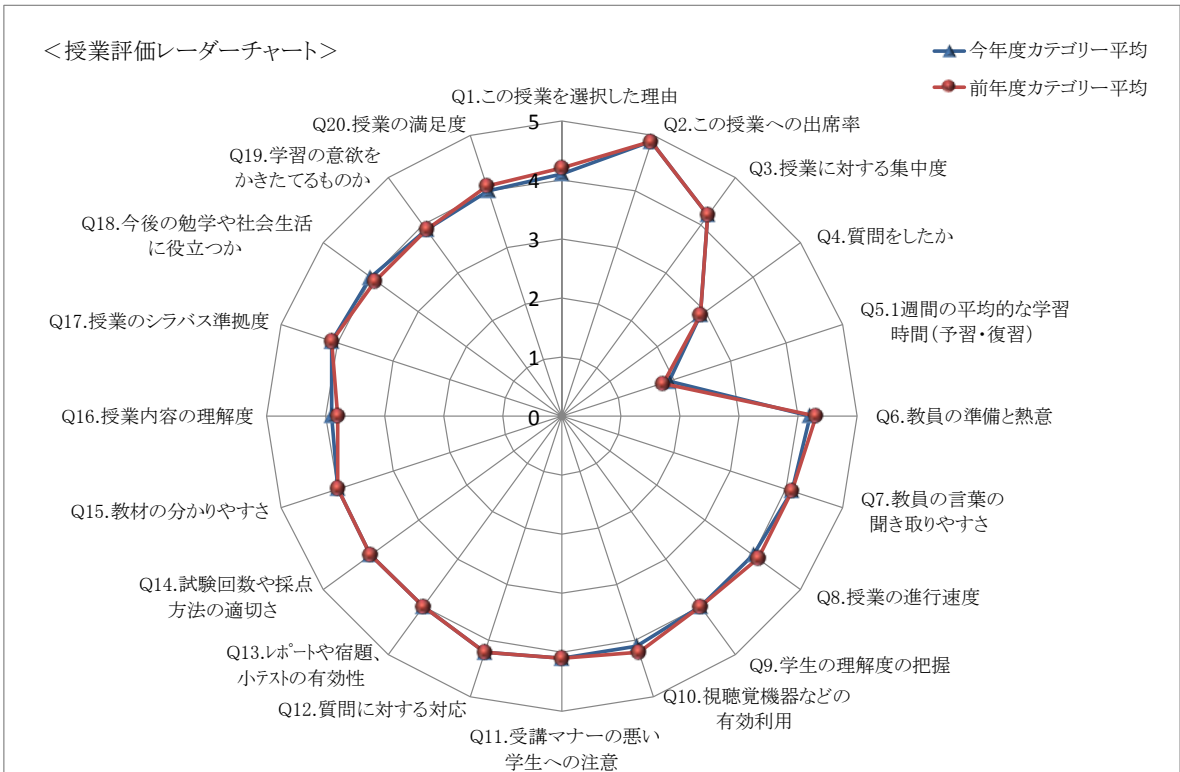
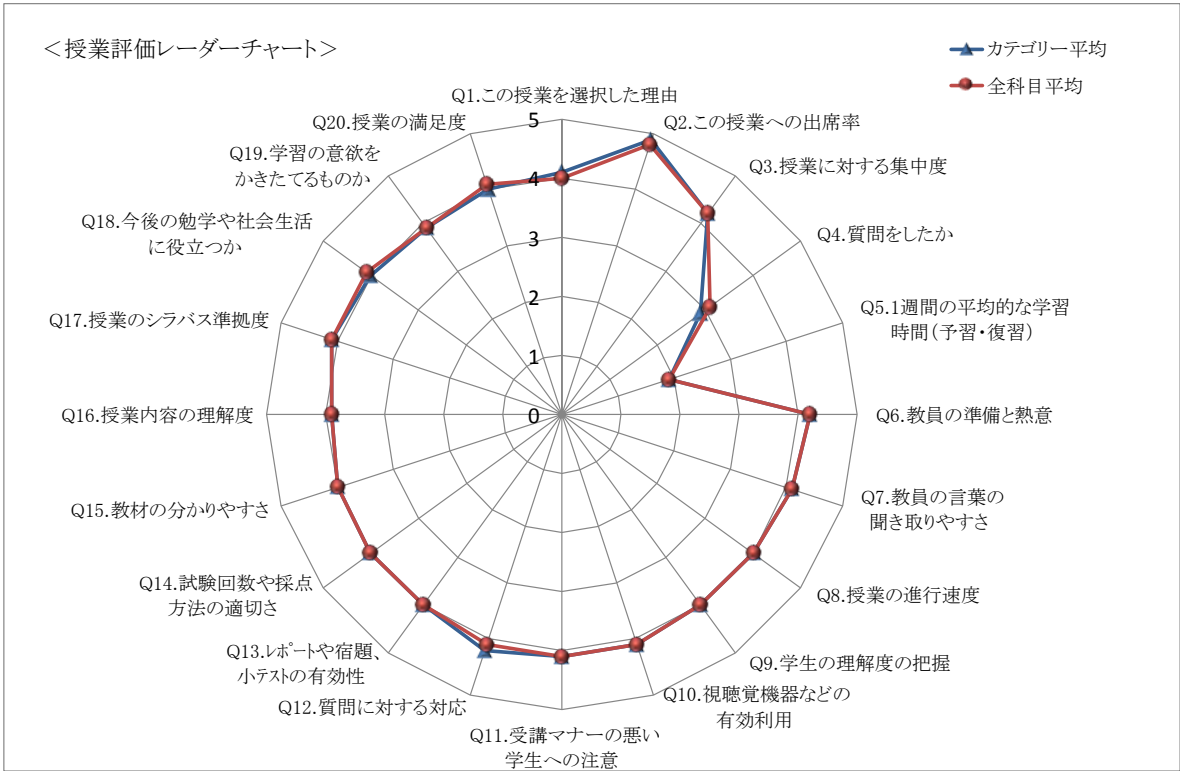
「自由記述」においては、どの言語についても「ネイティブの発音を聞ける」や「映像や映画を通じて学べる」などの意見が大変多く見られました。また、「ペアワークによってゲーム感覚で英語力が高まった」といった楽しみながら力がついたとする言葉も多くありました。一方で「スピードが速い」「レベル別のクラス分けを」といった意見が第3セメスターの学生から見られました。ただし、「スピードが遅い」といった意見も多数あり、学生間の実力差がついてきた2年目の進捗調整の難しさを感じるようです。

<異文化交流科目：社会と文化>

異文化交流科目のうち、「社会と文化」についての科目には、講義科目とゼミナールが含まれています。「全科目平均」と比較したレーダーチャートを見ると、ほぼ平均と一致し、大きな相違を示す項目はありません。前年度と比較しても、ほとんどの項目において大きな変化は見られない傾向がここ数年続いています。その中で一番高いポイントは、「Q2. この授業への出席率」です。本学の中では比較的大人数の講義形式の授業を含むにもかかわらず、きちんと出席している学生が多いことは評価できます。逆に、問題点はこれも昨年よりは上昇したものの「Q5. 一週間の平均的な学習時間（予習・復習）」が非常に低い水準であることです。一番の課題と言えます。

「自由記述」においては、例年以上に「先生の熱意を感じた」「先生が楽しそうに授業をしている」「熱く語っている」など、教員の熱意に関するコメント多く見られました。もちろん、「パワーポイントが見やすい」、「映像があることで理解が早い」などの意見も多くありましたが、根本は各教員の熱意なのだと考えさせられるものでした。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	422	159	33	75	45	99	4.1	4.0
	50.7%	19.1%	4.0%	9.0%	5.4%	11.9%	1.25	1.09
Q2.この授業への出席率	739	83	6	1	1	3	4.9	4.8
	88.7%	10.0%	0.7%	0.1%	0.1%	0.4%	0.38	0.48
Q3.授業に対する集中度	300	389	107	20	7	10	4.2	4.2
	36.0%	46.7%	12.8%	2.4%	0.8%	1.2%	0.80	0.82
Q4.質問をしたか	133	146	195	139	176	44	2.9	3.1
	16.0%	17.5%	23.4%	16.7%	21.1%	5.3%	1.38	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	76	48	74	154	459	22	1.9	1.9
	9.1%	5.8%	8.9%	18.5%	55.1%	2.6%	1.32	1.31
Q6.教員の準備と熱意	365	259	164	14	6	25	4.2	4.2
	43.8%	31.1%	19.7%	1.7%	0.7%	3.0%	0.87	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	340	273	174	24	7	15	4.1	4.1
	40.8%	32.8%	20.9%	2.9%	0.8%	1.8%	0.90	0.92
Q8.授業の進行速度	286	270	223	25	12	17	4.0	4.0
	34.3%	32.4%	26.8%	3.0%	1.4%	2.0%	0.94	0.91
Q9.学生の理解度の把握	290	279	202	21	11	30	4.0	4.0
	34.8%	33.5%	24.2%	2.5%	1.3%	3.6%	0.92	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	343	256	173	24	11	26	4.1	4.1
	41.2%	30.7%	20.8%	2.9%	1.3%	3.1%	0.93	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	340	260	171	15	12	35	4.1	4.1
	40.8%	31.2%	20.5%	1.8%	1.4%	4.2%	0.91	0.91
Q12.質問に対する対応	342	269	168	7	4	43	4.2	4.1
	41.1%	32.3%	20.2%	0.8%	0.5%	5.2%	0.83	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	253	276	220	20	9	55	4.0	4.0
	30.4%	33.1%	26.4%	2.4%	1.1%	6.6%	0.90	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	256	240	194	6	7	130	4.0	4.0
	30.7%	28.8%	23.3%	0.7%	0.8%	15.6%	0.87	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	261	289	204	26	10	43	4.0	4.0
	31.3%	34.7%	24.5%	3.1%	1.2%	5.2%	0.91	0.95
Q16.授業内容の理解度	261	271	222	33	21	25	3.9	3.9
	31.3%	32.5%	26.7%	4.0%	2.5%	3.0%	0.99	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	299	271	171	10	10	72	4.1	4.1
	35.9%	32.5%	20.5%	1.2%	1.2%	8.6%	0.88	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	279	278	196	22	15	43	4.0	4.1
	33.5%	33.4%	23.5%	2.6%	1.8%	5.2%	0.94	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	256	257	229	33	27	31	3.9	3.9
	30.7%	30.9%	27.5%	4.0%	3.2%	3.7%	1.03	1.01
Q20.授業の満足度	306	279	192	17	15	24	4.0	4.1
	36.7%	33.5%	23.0%	2.0%	1.8%	2.9%	0.93	0.95

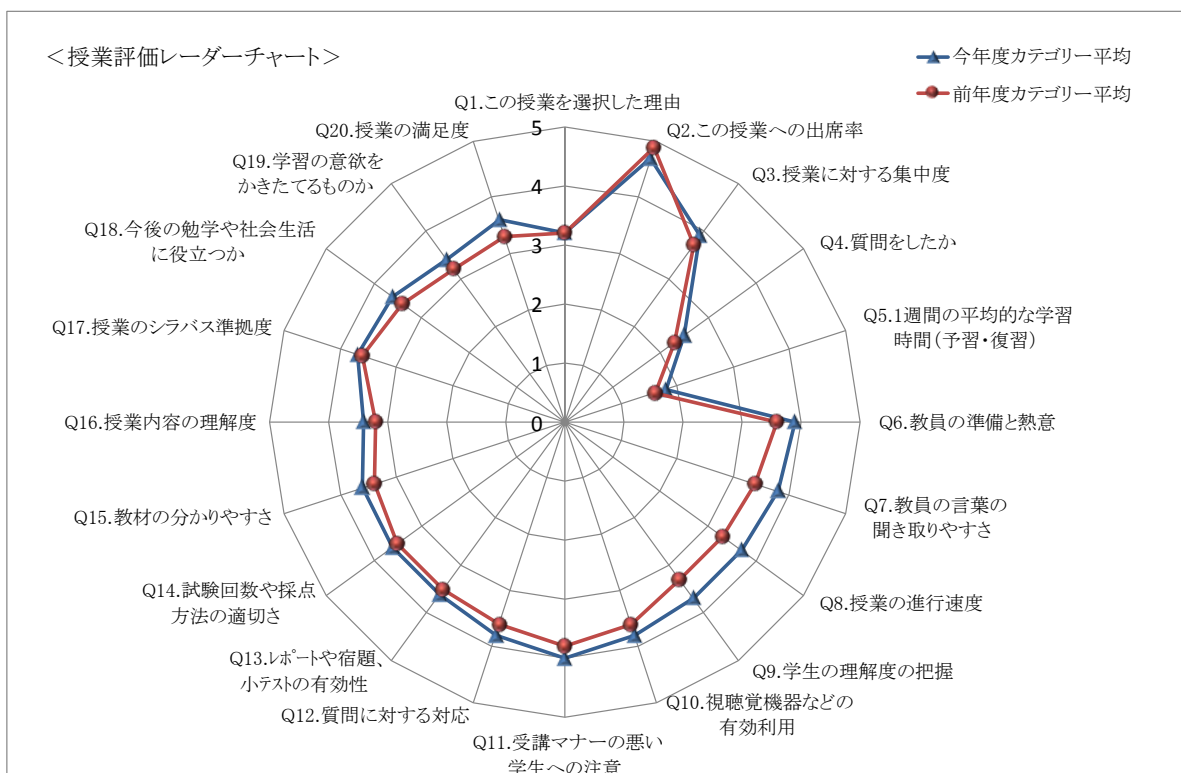
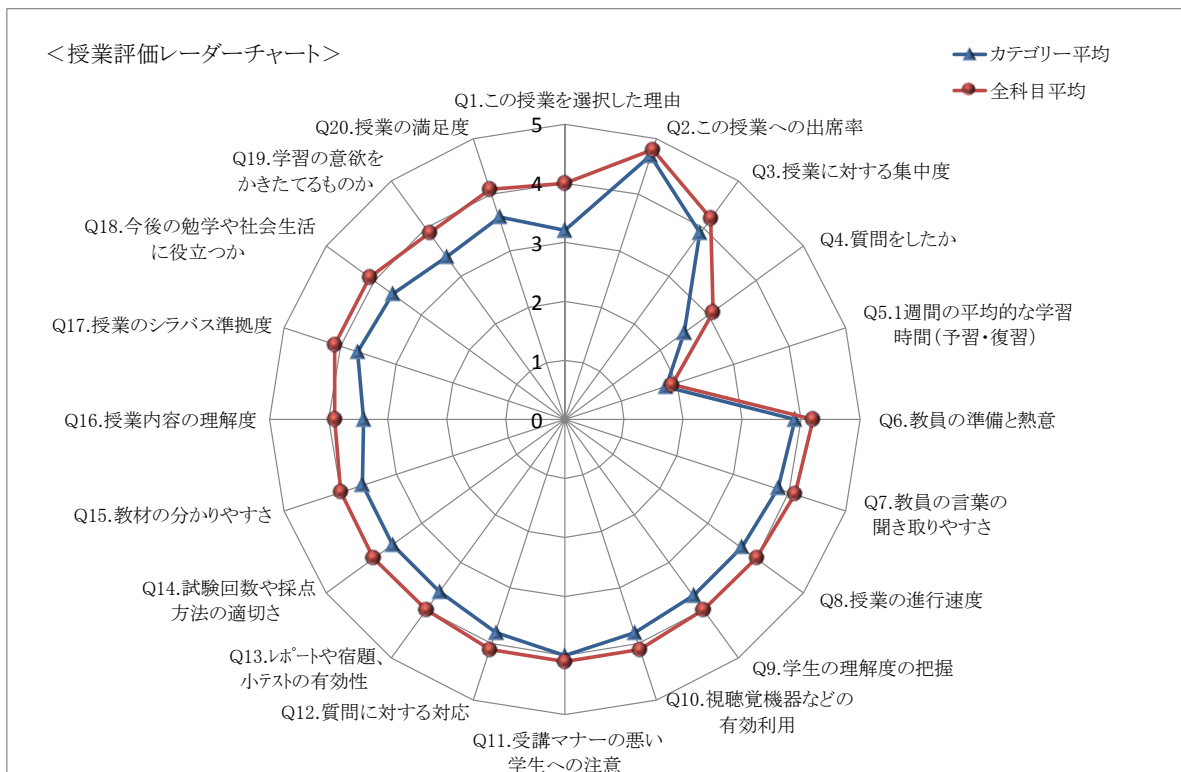


<専門基礎講義科目>

専門基礎講義科目（「経済システム理論Ⅰ」および「経済と社会の仕組みⅠ」）のアンケート結果を大まかに経年比較すると、すべての質問項目の相対評価値については、前年度とほぼ同様の傾向がみられます。ただし、「Q.4 質問をしたか」、「Q5.1 週間の平均的な学習時間」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」の3項目を除き、多数の項目では0.2ポイント～0.5ポイント程度の評価値の上昇が見られました。特に、評価値の改善が大きかったのは、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」の4項目でした。

全科目の平均値と専門基礎講義科目の平均値を比較すると、質問項目の相対評価値については、ほぼ前年度と同じ傾向がみられます。「Q5.1 週間の平均的な学習時間」と「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」の2項目を除き、他の項目については、全体として0.5ポイント程度低くなっています。これは、基礎講義科目が必修であること、また語学や演習等と違い座学であることによるところが大きいと思われる。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	32	19	256	1	4	12	3.2	4.0
	9.9%	5.9%	79.0%	0.3%	1.2%	3.7%	0.69	1.09
Q2.この授業への出席率	254	57	7	1	2	3	4.7	4.8
	78.4%	17.6%	2.2%	0.3%	0.6%	0.9%	0.57	0.48
Q3.授業に対する集中度	84	149	62	22	4	3	3.9	4.2
	25.9%	46.0%	19.1%	6.8%	1.2%	0.9%	0.91	0.82
Q4.質問をしたか	27	31	98	54	99	15	2.5	3.1
	8.3%	9.6%	30.2%	16.7%	30.6%	4.6%	1.27	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	24	15	25	68	187	5	1.8	1.9
	7.4%	4.6%	7.7%	21.0%	57.7%	1.5%	1.22	1.31
Q6.教員の準備と熱意	81	136	87	6	6	8	3.9	4.2
	25.0%	42.0%	26.9%	1.9%	1.9%	2.5%	0.88	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	87	110	101	16	3	7	3.8	4.1
	26.9%	34.0%	31.2%	4.9%	0.9%	2.2%	0.92	0.92
Q8.授業の進行速度	78	104	114	15	5	8	3.7	4.0
	24.1%	32.1%	35.2%	4.6%	1.5%	2.5%	0.94	0.91
Q9.学生の理解度の把握	67	113	108	16	9	11	3.7	4.0
	20.7%	34.9%	33.3%	4.9%	2.8%	3.4%	0.96	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	102	69	133	7	8	5	3.8	4.1
	31.5%	21.3%	41.0%	2.2%	2.5%	1.5%	1.00	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	103	123	75	13	5	5	4.0	4.1
	31.8%	38.0%	23.1%	4.0%	1.5%	1.5%	0.93	0.91
Q12.質問に対する対応	69	127	99	4	5	20	3.8	4.1
	21.3%	39.2%	30.6%	1.2%	1.5%	6.2%	0.85	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	71	68	131	9	8	37	3.6	4.0
	21.9%	21.0%	40.4%	2.8%	2.5%	11.4%	0.98	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	69	75	116	17	8	39	3.6	4.0
	21.3%	23.1%	35.8%	5.2%	2.5%	12.0%	1.00	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	70	71	155	5	9	14	3.6	4.0
	21.6%	21.9%	47.8%	1.5%	2.8%	4.3%	0.95	0.95
Q16.授業内容の理解度	55	54	172	24	9	10	3.4	3.9
	17.0%	16.7%	53.1%	7.4%	2.8%	3.1%	0.96	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	67	83	126	3	3	42	3.7	4.1
	20.7%	25.6%	38.9%	0.9%	0.9%	13.0%	0.87	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	72	71	151	6	8	16	3.6	4.1
	22.2%	21.9%	46.6%	1.9%	2.5%	4.9%	0.95	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	59	58	165	13	18	11	3.4	3.9
	18.2%	17.9%	50.9%	4.0%	5.6%	3.4%	1.02	1.01
Q20.授業の満足度	65	72	162	11	8	6	3.6	4.1
	20.1%	22.2%	50.0%	3.4%	2.5%	1.9%	0.94	0.95

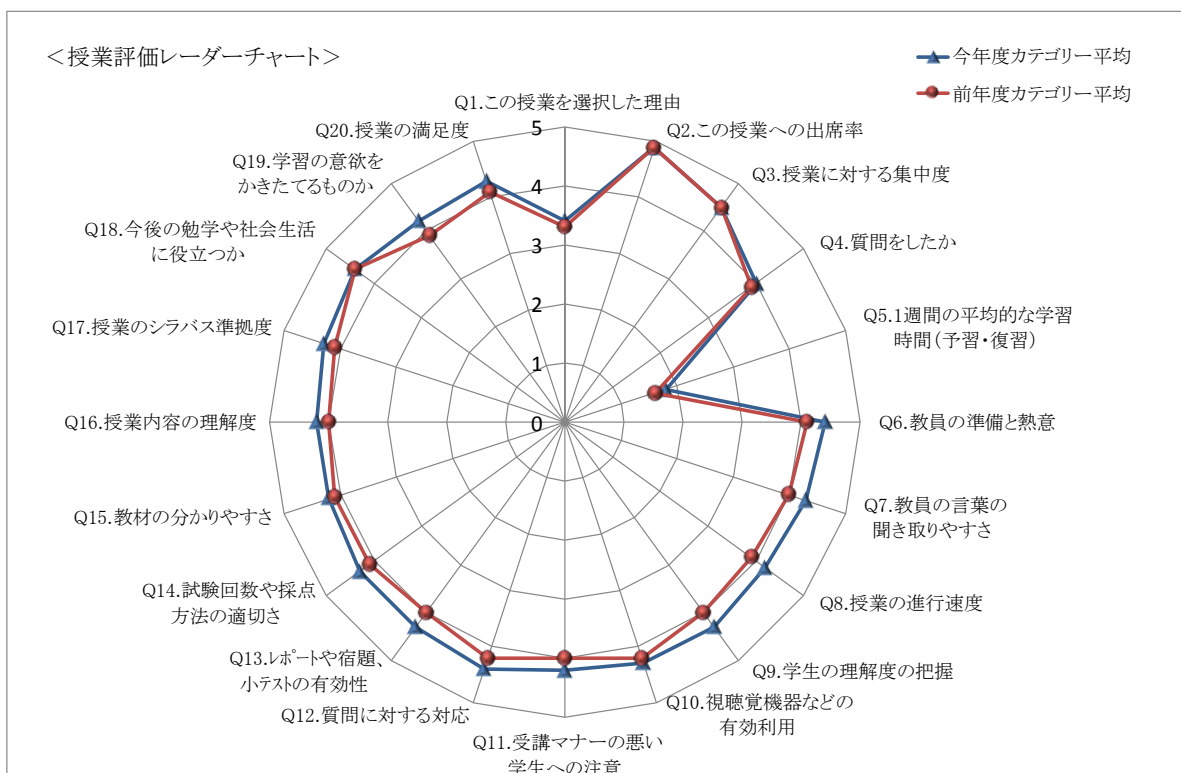
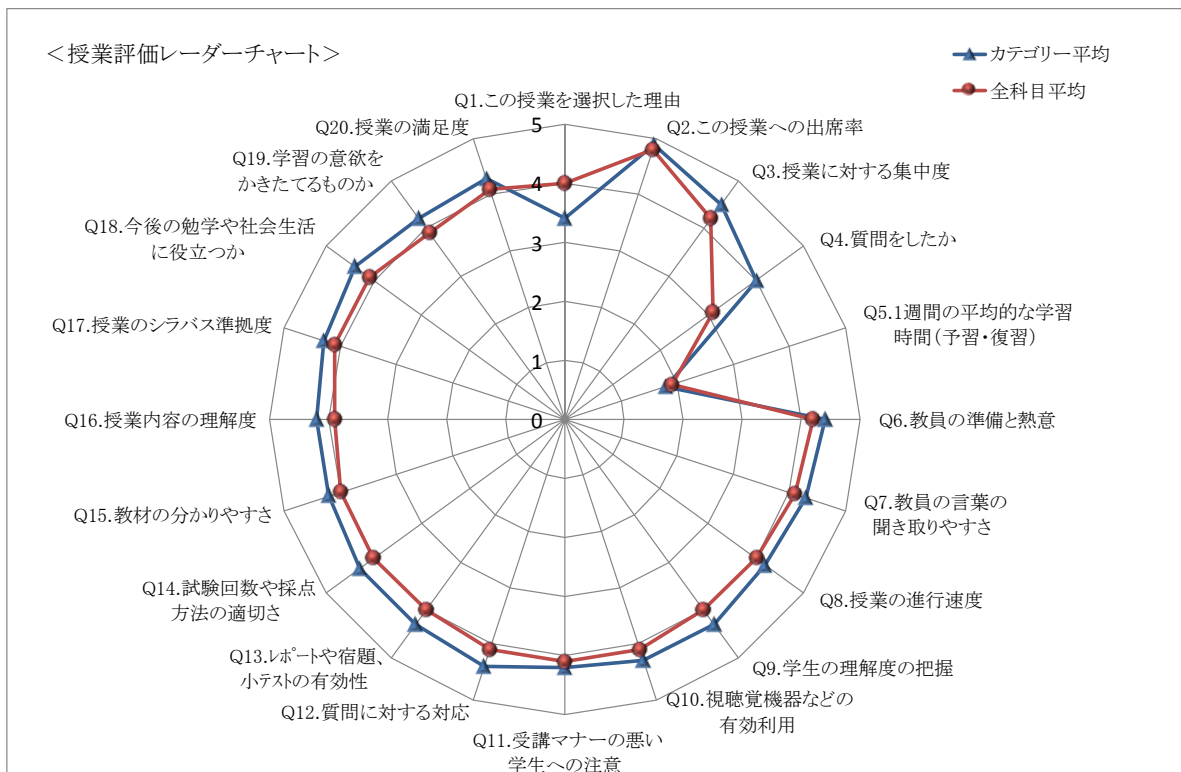


自由記述については、「スクリーンを使ってわかりやすい講義をしてくれる」、「小テストを行ってくれることで理解度が深まり高まる」、「将来の役に立つ」、「資料の準備力」などがありました。改善してほしい点としては、「必修クラス全体で評価方法を統一してほしい」、「自分で何かを考えることがない」、「授業の進行が速い」、「こまめにテストを行うのは良いと思うが、あまりにも多すぎる」などがありました。

<専門基礎実習科目>

専門基礎実習科目（コンピュータ・リテラシーⅠ）に対する評価は、20の評価項目うち全科目平均を下回ったのは2項目のみという結果になりました。毎年指摘していることではありますが、そのうち「Q1.この授業を選択した理由」は、本科目が選択科目ではなく必修科目であるので、実際に下回っているのは1項目だけです。その項目は、「Q5.1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」で、全科目平均を0.1ポイント下回っています。これも、昨年度と同様の傾向です。科目における課題は学内のPCから提出するため、課題をコピーして自宅に持ち帰って処理することはほとんど無いと思われます。高い評価には昨年度と同様に「Q4.質問をしたか」があり、全科目平均に対してプラス0.9ポイントと高い数値を示しています（昨年度は全科目平均に対してプラス0.8ポイント）。受講生の積極的な参加態度が見て取れます。また、全体平均に対し、0.3ポイント上回っている項目が7件あり、全体的に評価が高いことが伺われる。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	31	13	127	0	0	5	3.4	4.0
	17.6%	7.4%	72.2%	0.0%	0.0%	2.8%	0.78	1.09
Q2.この授業への出席率	159	15	1	0	1	0	4.9	4.8
	90.3%	8.5%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.43	0.48
Q3.授業に対する集中度	108	54	10	0	1	3	4.5	4.2
	61.4%	30.7%	5.7%	0.0%	0.6%	1.7%	0.66	0.82
Q4.質問をしたか	70	60	28	8	7	3	4.0	3.1
	39.8%	34.1%	15.9%	4.5%	4.0%	1.7%	1.06	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	17	6	14	18	114	7	1.8	1.9
	9.7%	3.4%	8.0%	10.2%	64.8%	4.0%	1.33	1.31
Q6.教員の準備と熱意	88	63	23	1	0	1	4.4	4.2
	50.0%	35.8%	13.1%	0.6%	0.0%	0.6%	0.73	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	85	59	28	3	0	1	4.3	4.1
	48.3%	33.5%	15.9%	1.7%	0.0%	0.6%	0.79	0.92
Q8.授業の進行速度	79	55	37	1	1	3	4.2	4.0
	44.9%	31.3%	21.0%	0.6%	0.6%	1.7%	0.84	0.91
Q9.学生の理解度の把握	87	54	31	2	0	2	4.3	4.0
	49.4%	30.7%	17.6%	1.1%	0.0%	1.1%	0.80	0.93
Q10.視覚機器などの有効利用	87	60	26	2	0	1	4.3	4.1
	49.4%	34.1%	14.8%	1.1%	0.0%	0.6%	0.77	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	77	54	42	0	0	3	4.2	4.1
	43.8%	30.7%	23.9%	0.0%	0.0%	1.7%	0.80	0.91
Q12.質問に対する対応	93	54	26	1	0	2	4.4	4.1
	52.8%	30.7%	14.8%	0.6%	0.0%	1.1%	0.75	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	82	50	35	2	0	7	4.3	4.0
	46.6%	28.4%	19.9%	1.1%	0.0%	4.0%	0.82	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	76	56	27	1	0	16	4.3	4.0
	43.2%	31.8%	15.3%	0.6%	0.0%	9.1%	0.76	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	80	53	35	2	0	6	4.2	4.0
	45.5%	30.1%	19.9%	1.1%	0.0%	3.4%	0.82	0.95
Q16.授業内容の理解度	77	63	28	5	0	3	4.2	3.9
	43.8%	35.8%	15.9%	2.8%	0.0%	1.7%	0.82	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	81	53	31	1	0	10	4.3	4.1
	46.0%	30.1%	17.6%	0.6%	0.0%	5.7%	0.78	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	100	49	24	0	0	3	4.4	4.1
	56.8%	27.8%	13.6%	0.0%	0.0%	1.7%	0.72	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	82	52	38	0	1	3	4.2	3.9
	46.6%	29.5%	21.6%	0.0%	0.6%	1.7%	0.83	1.01
Q20.授業の満足度	81	62	30	0	0	3	4.3	4.1
	46.0%	35.2%	17.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.74	0.95

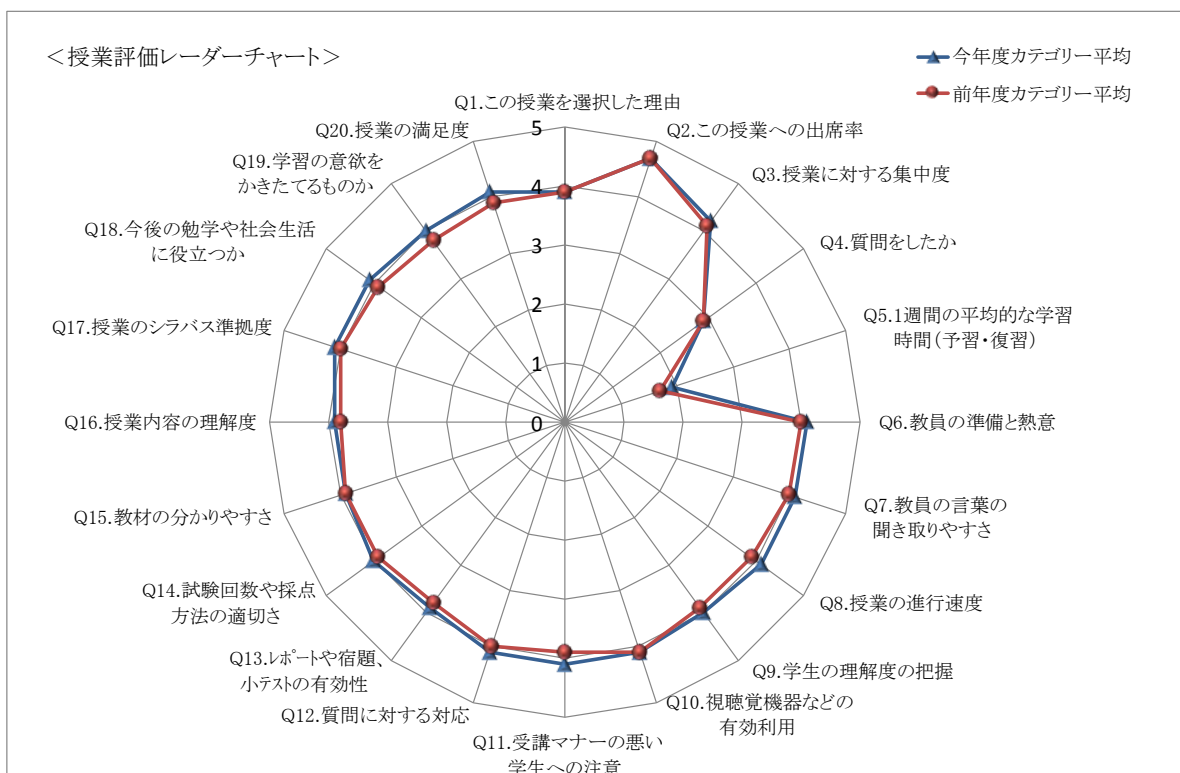
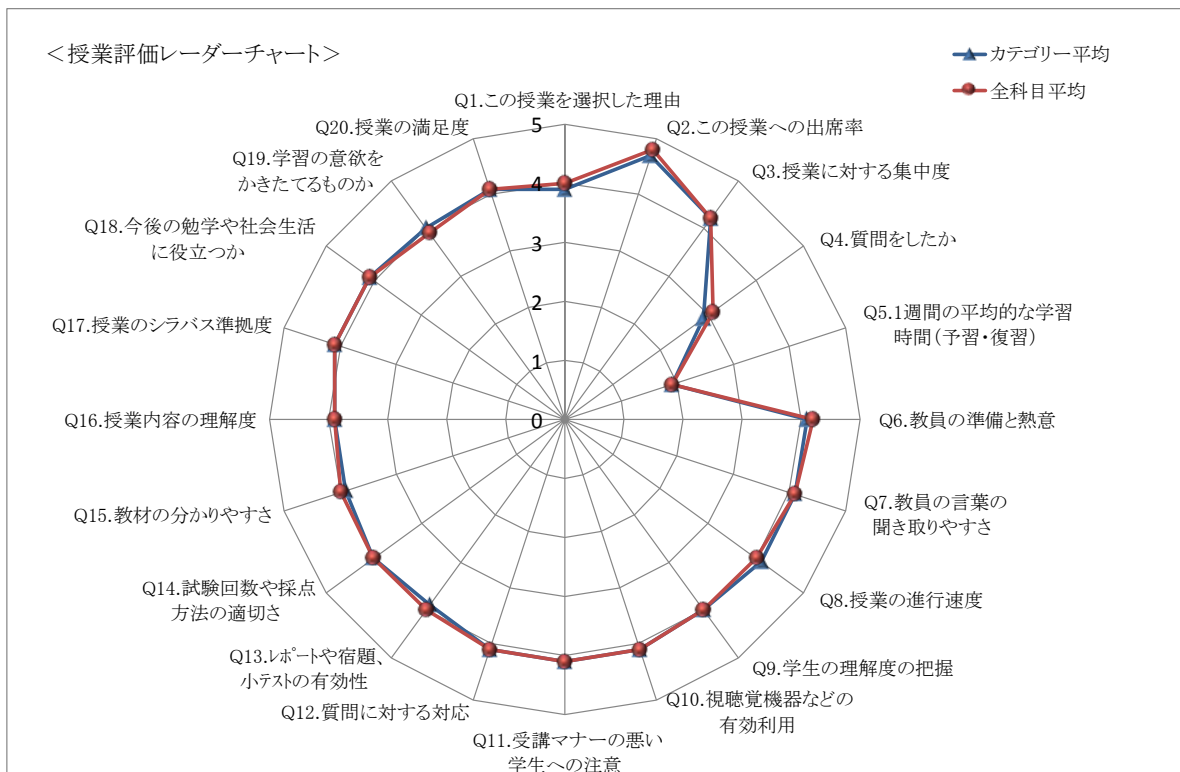


自由記述の項目に関しては、良い評価として「分からない点を丁寧に説明してくれた点。」「分かる安い」など 30 件の記述があり、全体に教え方が高く評価されています。その一方で、改善して欲しい意見の中には、「進行速度速いときがある」という要望もあり、受講生のレベルに合わせることの難しさが伺えます。

<専門関連科目>

専門関連科目のアンケート結果を、全科目の評価平均値と比較してみると、Q1～Q20までの質問項目のうち「Q4. 質問をしたか」を除くすべての項目について、ほとんど差異はみられませんでした。前年度同期の専門関連科目の評価値と比較すると、評価が改善した項目は10項目以上ありました。他方、評価が悪化した項目は皆無でした。具体的には、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」については0.1ポイントほど上昇し、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習意欲をかき立てるものか」、「Q. 20. 授業の満足度」については前年度より0.2ポイントほど上昇しました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値 下段: 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選じた理由	464 39.5%	268 22.8%	152 12.9%	157 13.4%	20 1.7%	114 9.7%	3.9 1.16	4.0 1.09
Q2.この授業への出席率	886 75.4%	248 21.1%	32 2.7%	2 0.2%	3 0.3%	4 0.3%	4.7 0.55	4.8 0.48
Q3.授業に対する集中度	434 36.9%	523 44.5%	162 13.8%	26 2.2%	14 1.2%	16 1.4%	4.2 0.83	4.2 0.82
Q4.質問をしたか	184 15.7%	207 17.6%	339 28.9%	143 12.2%	244 20.8%	58 4.9%	2.9 1.36	3.1 1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	119 10.1%	42 3.6%	102 8.7%	195 16.6%	687 58.5%	30 2.6%	1.9 1.33	1.9 1.31
Q6.教員の準備と熱意	500 42.6%	364 31.0%	257 21.9%	23 2.0%	12 1.0%	19 1.6%	4.1 0.90	4.2 0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	475 40.4%	369 31.4%	267 22.7%	34 2.9%	12 1.0%	18 1.5%	4.1 0.92	4.1 0.92
Q8.授業の進行速度	421 35.8%	388 33.0%	312 26.6%	16 1.4%	5 0.4%	33 2.8%	4.1 0.86	4.0 0.91
Q9.学生の理解度の把握	420 35.7%	375 31.9%	315 26.8%	15 1.3%	9 0.8%	41 3.5%	4.0 0.88	4.0 0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	492 41.9%	382 32.5%	242 20.6%	25 2.1%	10 0.9%	24 2.0%	4.1 0.89	4.1 0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	486 41.4%	334 28.4%	284 24.2%	20 1.7%	6 0.5%	45 3.8%	4.1 0.89	4.1 0.91
Q12.質問に対する対応	448 38.1%	366 31.1%	276 23.5%	9 0.8%	5 0.4%	71 6.0%	4.1 0.84	4.1 0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	396 33.7%	309 26.3%	387 32.9%	24 2.0%	7 0.6%	52 4.4%	3.9 0.92	4.0 0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	415 35.3%	303 25.8%	310 26.4%	20 1.7%	14 1.2%	113 9.6%	4.0 0.94	4.0 0.93
Q15.教材の分かりやすさ	412 35.1%	326 27.7%	343 29.2%	46 3.9%	17 1.4%	31 2.6%	3.9 0.98	4.0 0.95
Q16.授業内容の理解度	384 32.7%	373 31.7%	337 28.7%	37 3.1%	17 1.4%	27 2.3%	3.9 0.94	3.9 0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	423 36.0%	321 27.3%	291 24.8%	10 0.9%	2 0.2%	128 10.9%	4.1 0.85	4.1 0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	439 37.4%	368 31.3%	284 24.2%	16 1.4%	14 1.2%	54 4.6%	4.1 0.90	4.1 0.93
Q19.学習の意欲をかき立てるものか	421 35.8%	350 29.8%	327 27.8%	22 1.9%	17 1.4%	38 3.2%	4.0 0.93	3.9 1.01
Q20.授業の満足度	443 37.7%	374 31.8%	291 24.8%	20 1.7%	14 1.2%	33 2.8%	4.1 0.91	4.1 0.95



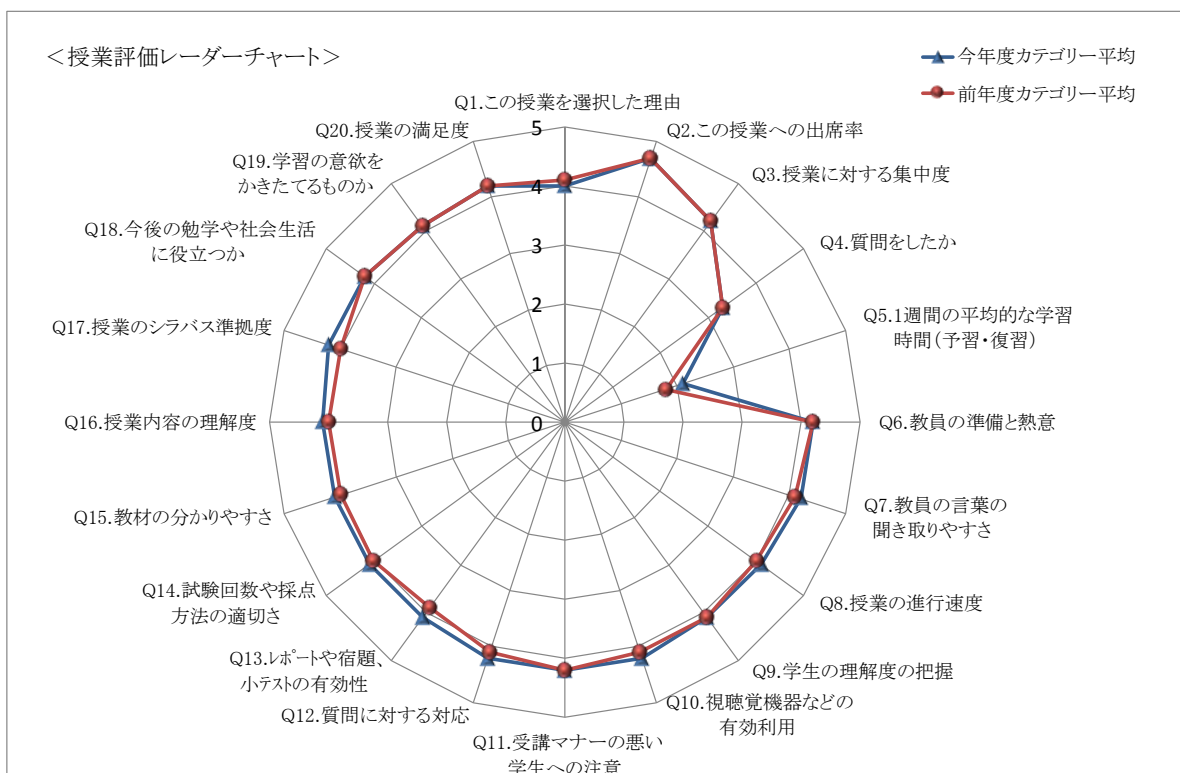
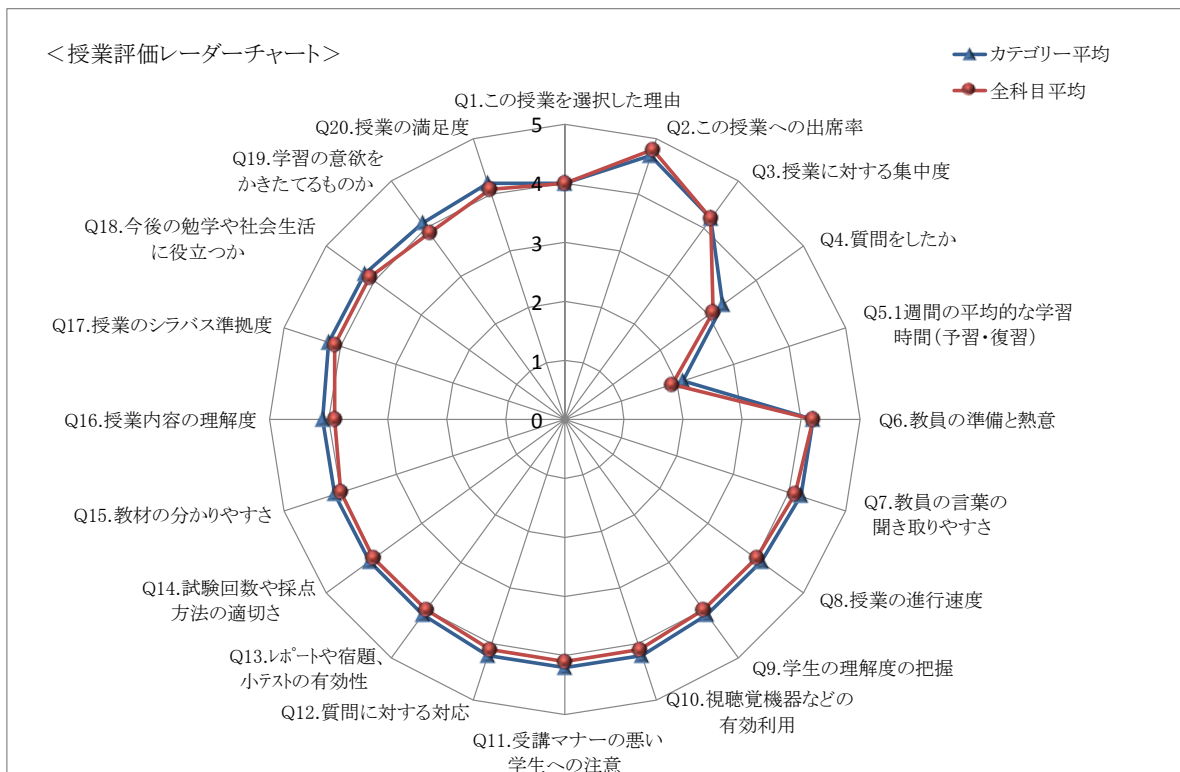
自由記述を概観すると、良かったという記述が比較的多く、改善を求める記述はその3割程度でした。改善してほしい点として多かったのは、例年同様、「パワーポイントの操作(速すぎる)」、「ハンドアウトの量と見づらさ」、「マイクのボリューム」、「テストの回数や難易度」に関するものでした。その他、「過去問とその解答がほしい」、「採点が厳しい」などがありました。良かった点を挙げた記述では、「映像を見ることで、より理解が深まった」、「テストがない」、「常にわかりやすい。何をやっているのかが明確で自分の身につく」、「これからのことをしっかり考えることができる」など、多数ありました。

<商学科専門科目>

商学科専門科目平均は全科目平均と同様に「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、対照的に「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」が大変低いのが特徴です。また「Q4. 質問をしたか」もQ5に次ぐ低い結果となっています。さらに商学科専門科目平均と全科目平均の項目別評価傾向を比較すると、「Q1. この授業を選択した理由」、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q6. 教員の準備と熱意」を除くすべての項目で、僅かではあるが商学科専門科目平均が全科目平均を上回る結果となりました。逆に商学科専門科目が全科目平均を下回った項目は「Q2. この授業への出席率」のみで、「Q1. この授業を選択した理由」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q6. 教員の準備と熱意」は全科目平均と同水準でした。

次に今年度の商学科専門科目平均と前年度の同科目平均を比較した結果をみると、こちらも評価傾向においてはほぼ昨年同様の結果となりました。項目別では「Q1. この授業を選択した理由」が僅かに下回りましたが、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」では前年度カテゴリー平均並み、それら以外の項目では前年度カテゴリー平均を上回りました。特に「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・

質問内容	上段: 平均値						下段: 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	187	132	79	40	6	32	4.0	4.0
	39.3%	27.7%	16.6%	8.4%	1.3%	6.7%	1.04	1.09
Q2.この授業への出席率	360	99	14	1	0	2	4.7	4.8
	75.6%	20.8%	2.9%	0.2%	0.0%	0.4%	0.52	0.48
Q3.授業に対する集中度	176	236	45	7	1	11	4.2	4.2
	37.0%	49.6%	9.5%	1.5%	0.2%	2.3%	0.70	0.82
Q4.質問をしたか	87	149	118	31	67	24	3.3	3.1
	18.3%	31.3%	24.8%	6.5%	14.1%	5.0%	1.28	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	63	36	47	77	241	12	2.1	1.9
	13.2%	7.6%	9.9%	16.2%	50.6%	2.5%	1.46	1.31
Q6.教員の準備と熱意	191	185	73	5	4	18	4.2	4.2
	40.1%	38.9%	15.3%	1.1%	0.8%	3.8%	0.81	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	191	180	77	9	5	14	4.2	4.1
	40.1%	37.8%	16.2%	1.9%	1.1%	2.9%	0.85	0.92
Q8.授業の進行速度	164	183	99	7	5	18	4.1	4.0
	34.5%	38.4%	20.8%	1.5%	1.1%	3.8%	0.85	0.91
Q9.学生の理解度の把握	168	180	98	7	6	17	4.1	4.0
	35.3%	37.8%	20.6%	1.5%	1.3%	3.6%	0.87	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	185	175	94	3	5	14	4.2	4.1
	38.9%	36.8%	19.7%	0.6%	1.1%	2.9%	0.84	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	206	159	80	5	7	19	4.2	4.1
	43.3%	33.4%	16.8%	1.1%	1.5%	4.0%	0.87	0.91
Q12.質問に対する対応	180	180	75	4	5	32	4.2	4.1
	37.8%	37.8%	15.8%	0.8%	1.1%	6.7%	0.82	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	167	171	110	2	6	20	4.1	4.0
	35.1%	35.9%	23.1%	0.4%	1.3%	4.2%	0.86	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	182	150	97	3	7	37	4.1	4.0
	38.2%	31.5%	20.4%	0.6%	1.5%	7.8%	0.89	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	178	167	102	2	7	20	4.1	4.0
	37.4%	35.1%	21.4%	0.4%	1.5%	4.2%	0.87	0.95
Q16.授業内容の理解度	153	197	98	4	8	16	4.1	3.9
	32.1%	41.4%	20.6%	0.8%	1.7%	3.4%	0.86	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	174	149	90	5	3	55	4.2	4.1
	36.6%	31.3%	18.9%	1.1%	0.6%	11.6%	0.85	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	199	174	68	5	5	25	4.2	4.1
	41.8%	36.6%	14.3%	1.1%	1.1%	5.3%	0.83	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	189	158	94	4	10	21	4.1	3.9
	39.7%	33.2%	19.7%	0.8%	2.1%	4.4%	0.92	1.01
Q20.授業の満足度	198	180	72	1	7	18	4.2	4.1
	41.6%	37.8%	15.1%	0.2%	1.5%	3.8%	0.83	0.95



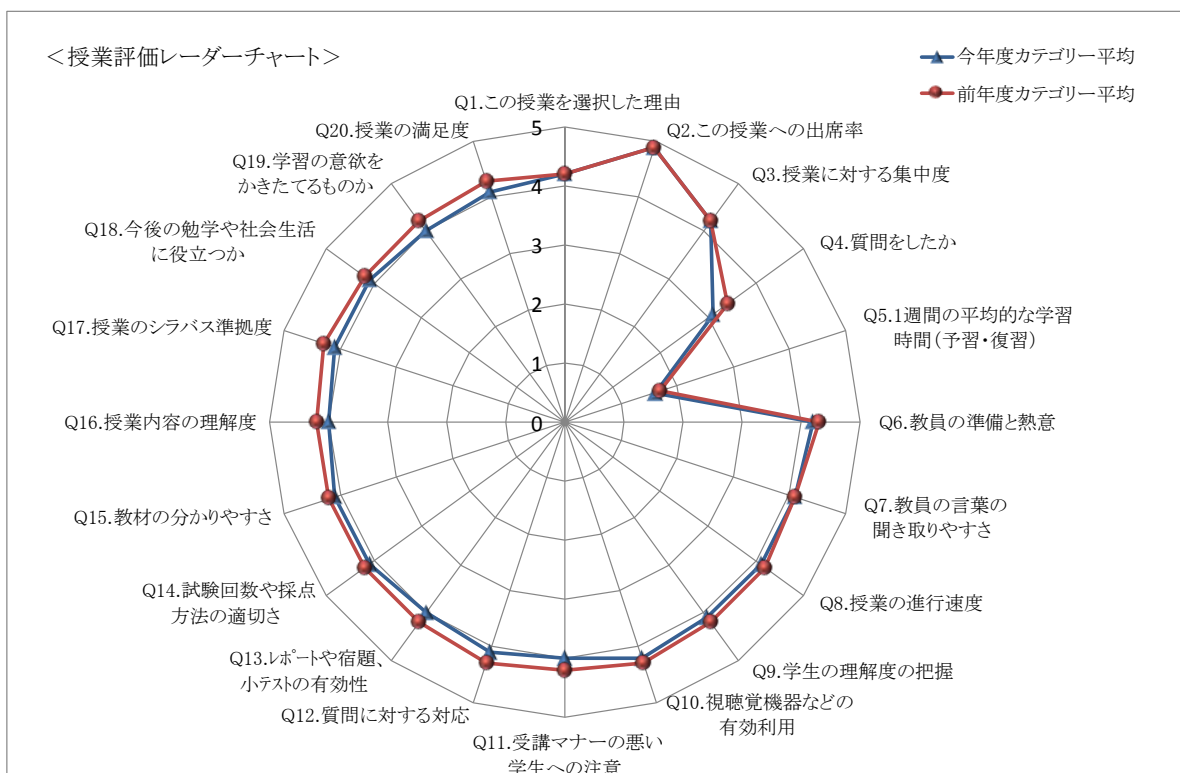
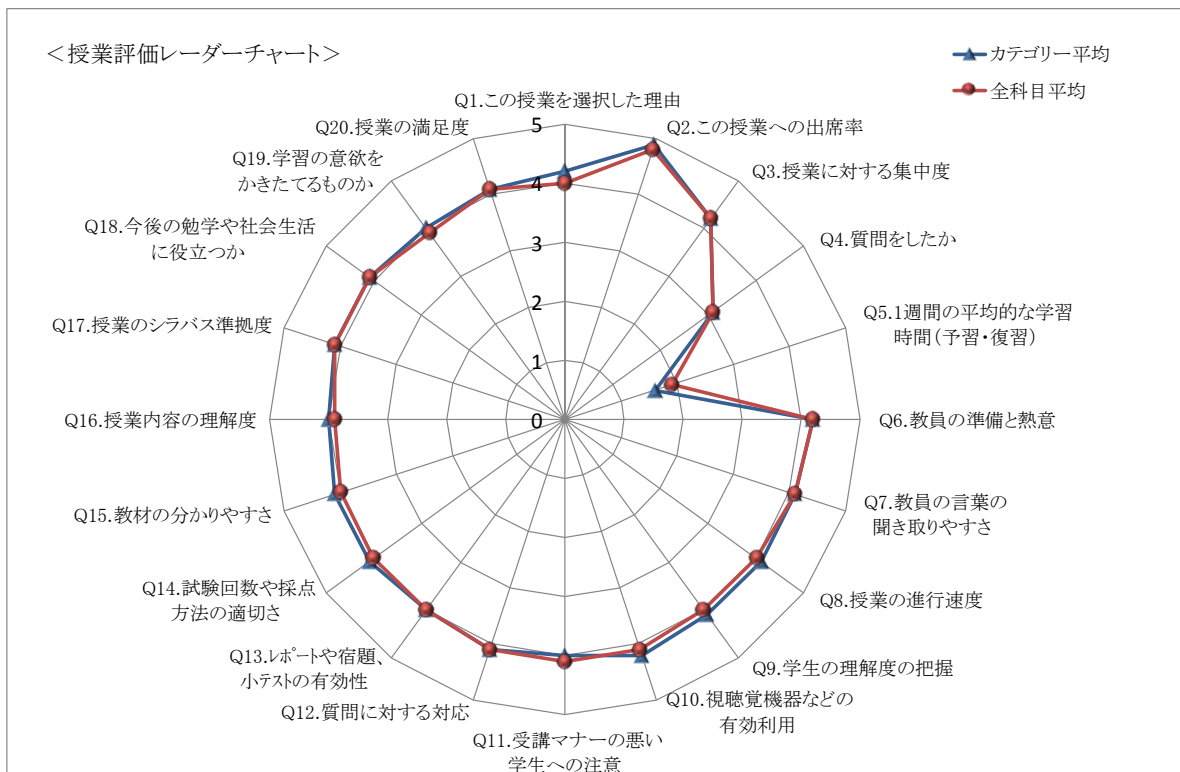
復習)」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」で改善がみられます。

自由記述内容を見ると「授業で特に良かった点」では、「商学部ならではの科目で、社会人になってからも使えるものだと思います」、「説明がていねい」、「プリントが配られるところ」、「細かなところまで説明してくれる」といった事が挙げられています。「授業で特に改善してほしい点」では、「板書が横に長すぎてノートを取るのが困難な点」、「マイクが聞こえず(づ)らい」、「黒板の字が読みにくい時がある点」「プロジェクターの画面が見づらい」といった要望がありました。「その他の意見・要望」は、「学校の印刷機がよく使えなくなるので、プリントを各自で印刷するのを辞めて先生に持ってきてもらうシステムにしてほしい」、「学食のメニュー増やして欲しい」などがありました。

<観光産業学科専門科目>

観光産業学科専門科目の評価項目の平均値の中で、全科目平均を上回る項目は「Q1. この授業を選択した理由」の+0.2ポイントと、「Q2. この授業への出席率」「Q8. 授業の進行速度」などの8項目の+0.1ポイントでした。合わせて9項目で上回っていました。一方、全体平均を下回る項目は「Q5.1 週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の-0.3ポイントと、「Q11. 授業マナーの悪い学生への注意」の-0.1ポイントでした。このことから、本科目は他の科目と比較し総合的に高い評価をされていることが明らかです。ただし、前年度と比べ、わずかながら評価が下がっている項目が多く、残念なところです。全体平均との比較における高評価だけでなく、同一科目における継続的な改善の努力が求められています。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	144	66	40	25	4	21	4.2	4.0
	48.0%	22.0%	13.3%	8.3%	1.3%	7.0%	1.06	1.09
Q2.この授業への出席率	270	27	2	0	1	0	4.9	4.8
	90.0%	9.0%	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	0.40	0.48
Q3.授業に対する集中度	112	135	35	8	4	6	4.2	4.2
	37.3%	45.0%	11.7%	2.7%	1.3%	2.0%	0.84	0.82
Q4.質問をしたか	54	54	85	31	54	22	3.1	3.1
	18.0%	18.0%	28.3%	10.3%	18.0%	7.3%	1.36	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	14	7	24	44	197	14	1.6	1.9
	4.7%	2.3%	8.0%	14.7%	65.7%	4.7%	1.07	1.31
Q6.教員の準備と熱意	136	92	56	8	3	5	4.2	4.2
	45.3%	30.7%	18.7%	2.7%	1.0%	1.7%	0.90	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	131	96	55	9	5	4	4.1	4.1
	43.7%	32.0%	18.3%	3.0%	1.7%	1.3%	0.94	0.92
Q8.授業の進行速度	120	95	67	6	3	9	4.1	4.0
	40.0%	31.7%	22.3%	2.0%	1.0%	3.0%	0.90	0.91
Q9.学生の理解度の把握	114	98	66	6	6	10	4.1	4.0
	38.0%	32.7%	22.0%	2.0%	2.0%	3.3%	0.94	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	138	90	50	9	4	9	4.2	4.1
	46.0%	30.0%	16.7%	3.0%	1.3%	3.0%	0.92	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	101	95	83	3	4	14	4.0	4.1
	33.7%	31.7%	27.7%	1.0%	1.3%	4.7%	0.90	0.91
Q12.質問に対する対応	112	97	62	4	4	21	4.1	4.1
	37.3%	32.3%	20.7%	1.3%	1.3%	7.0%	0.89	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	91	105	68	4	4	28	4.0	4.0
	30.3%	35.0%	22.7%	1.3%	1.3%	9.3%	0.88	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	107	84	73	4	3	29	4.1	4.0
	35.7%	28.0%	24.3%	1.3%	1.0%	9.7%	0.91	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	114	92	66	7	6	15	4.1	4.0
	38.0%	30.7%	22.0%	2.3%	2.0%	5.0%	0.96	0.95
Q16.授業内容の理解度	109	100	71	6	6	8	4.0	3.9
	36.3%	33.3%	23.7%	2.0%	2.0%	2.7%	0.94	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	117	81	60	4	5	33	4.1	4.1
	39.0%	27.0%	20.0%	1.3%	1.7%	11.0%	0.94	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	119	86	62	6	10	17	4.1	4.1
	39.7%	28.7%	20.7%	2.0%	3.3%	5.7%	1.02	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	111	90	65	8	10	16	4.0	3.9
	37.0%	30.0%	21.7%	2.7%	3.3%	5.3%	1.02	1.01
Q20.授業の満足度	128	88	57	5	12	10	4.1	4.1
	42.7%	29.3%	19.0%	1.7%	4.0%	3.3%	1.04	0.95

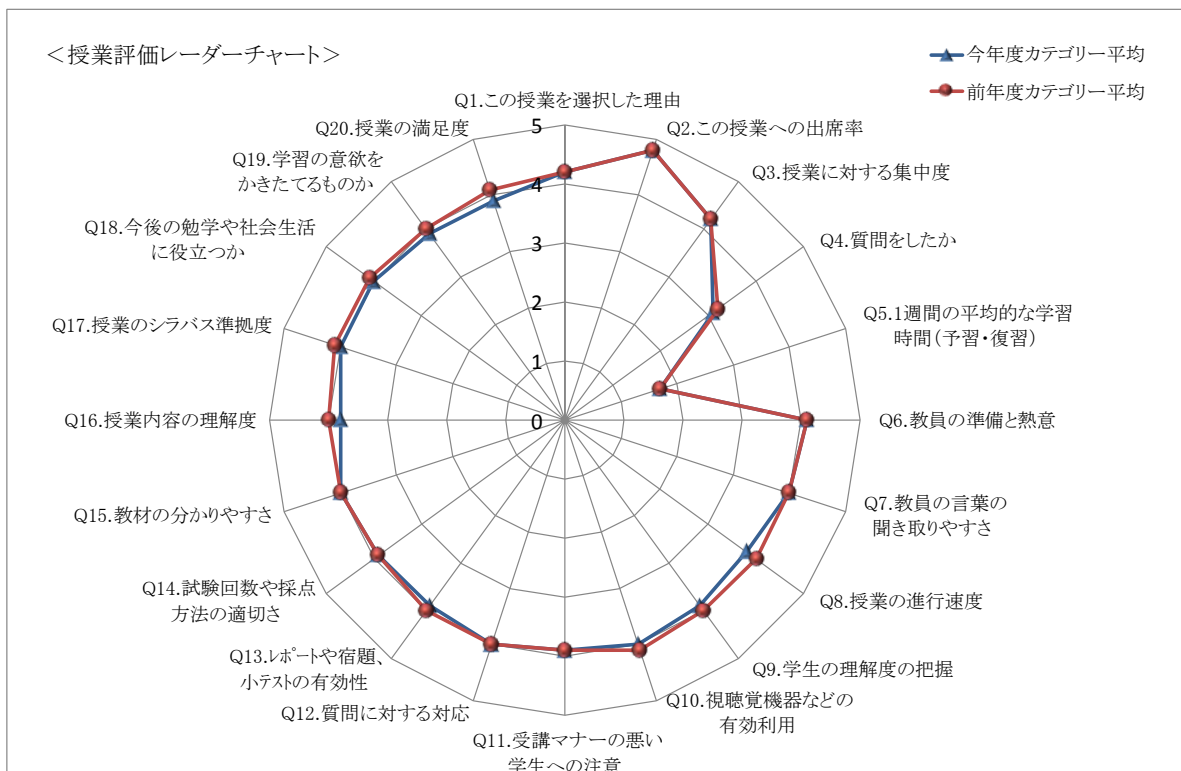
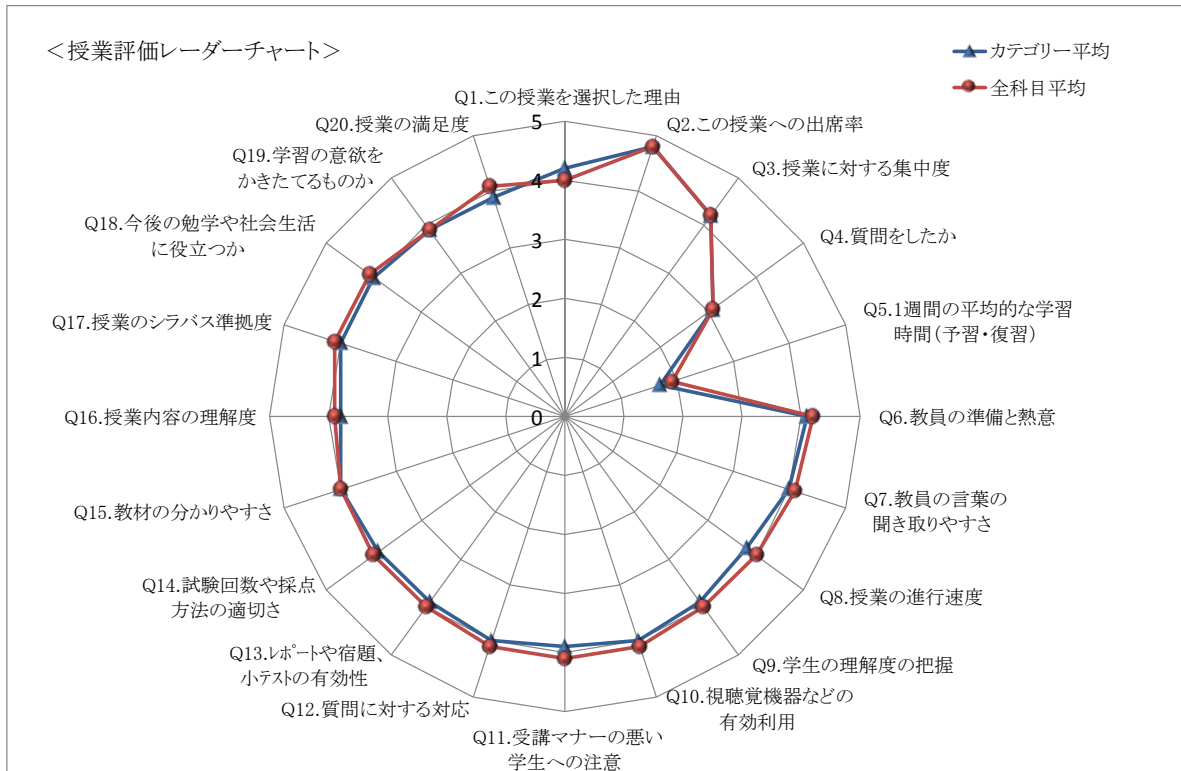


自由記述欄の回答では、良いと評価するコメント数が40件ありました。「最後に見るビデオが毎回も白かったです」「プロジェクターを活用してすごくわかりやすかった」「動画を見せてくれるので理解しやすかった」など、マルチメディアの活用が理解の助けになっているのが伺えます。また、「グループワークが楽しい」「フィールドワークある」など、グループワークやフィールドワークにおける活動を通して学ぶことで充実感を得ている様子も伺える。さらには、「体験談が面白いです」など、教員の実験の体験を通しての話への関心が高いことが分かる。不満として、資格が取れる授業と思い選択したが、期待に沿う内容ではなかったというものが複数あり、改善が求められるだろう。

<専門キャリアアップ科目>

専門キャリアアップ科目も全科目平均と同様に「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、対照的に「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」、続いて「Q4. 質問をしたか」が大変低いのが基本的な特徴です。専門キャリアアップ科目のカテゴリー平均と全科目平均の項目別比較では、「Q1. この授業を選択した理由」のみが全科目平均を上回っています。「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」は全科目平均並となりました。これら項目以外では僅差ですがカテゴリー平均が全科目平均を下回っています。特に「Q5. 1週間の平均的な学習（予習・復習）」「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」「Q20. 授業の満足度」の低さが目立っています。専門キャリアアップ科目の今年度カテゴリー平均を前年度のカテゴリー平均と比較すると、おおむね昨年同様の結果となっています。違いをあげれば「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q16. 授業内容の理解度」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」で評価が下がりました。特にQ8、Q16、Q17で差が目立つこととなりました。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均
Q1.この授業を選択した理由	146	150	15	24	2	8	4.2	4.0
	42.3%	43.5%	4.3%	7.0%	0.6%	2.3%	0.87	1.09
Q2.この授業への出席率	291	47	4	1	0	2	4.8	4.8
	84.3%	13.6%	1.2%	0.3%	0.0%	0.6%	0.43	0.48
Q3.授業に対する集中度	133	149	40	11	6	6	4.2	4.2
	38.6%	43.2%	11.6%	3.2%	1.7%	1.7%	0.88	0.82
Q4.質問をしたか	52	69	104	31	62	27	3.1	3.1
	15.1%	20.0%	30.1%	9.0%	18.0%	7.8%	1.32	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	20	10	29	55	223	8	1.7	1.9
	5.8%	2.9%	8.4%	15.9%	64.6%	2.3%	1.13	1.31
Q6.教員の準備と熱意	144	114	54	6	17	10	4.1	4.2
	41.7%	33.0%	15.7%	1.7%	4.9%	2.9%	1.06	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	133	124	51	9	19	9	4.0	4.1
	38.6%	35.9%	14.8%	2.6%	5.5%	2.6%	1.08	0.92
Q8.授業の進行速度	101	122	76	15	15	16	3.8	4.0
	29.3%	35.4%	22.0%	4.3%	4.3%	4.6%	1.05	0.91
Q9.学生の理解度の把握	119	119	60	14	20	13	3.9	4.0
	34.5%	34.5%	17.4%	4.1%	5.8%	3.8%	1.11	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	140	101	63	10	18	13	4.0	4.1
	40.6%	29.3%	18.3%	2.9%	5.2%	3.8%	1.10	0.92
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	110	100	90	12	12	21	3.9	4.1
	31.9%	29.0%	26.1%	3.5%	3.5%	6.1%	1.04	0.91
Q12.質問に対する対応	120	121	62	6	14	22	4	4.1
	34.8%	35.1%	18.0%	1.7%	4.1%	6.4%	1.01	0.86
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	111	114	68	10	14	28	3.9	4.0
	32.2%	33.0%	19.7%	2.9%	4.1%	8.1%	1.04	0.92
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	102	119	69	5	14	36	3.9	4.0
	29.6%	34.5%	20.0%	1.4%	4.1%	10.4%	1.01	0.93
Q15.教材の分かりやすさ	117	120	69	8	13	18	4.0	4.0
	33.9%	34.8%	20.0%	2.3%	3.8%	5.2%	1.01	0.95
Q16.授業内容の理解度	106	118	77	14	20	10	3.8	3.9
	30.7%	34.2%	22.3%	4.1%	5.8%	2.9%	1.10	0.97
Q17.授業のシラバス準拠度	108	119	66	3	12	37	4.0	4.1
	31.3%	34.5%	19.1%	0.9%	3.5%	10.7%	0.98	0.88
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	138	106	59	9	15	18	4.0	4.1
	40.0%	30.7%	17.1%	2.6%	4.3%	5.2%	1.06	0.93
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	114	112	74	5	25	15	3.9	3.9
	33.0%	32.5%	21.4%	1.4%	7.2%	4.3%	1.14	1.01
Q20.授業の満足度	131	113	51	14	24	12	3.9	4.1
	38.0%	32.8%	14.8%	4.1%	7.0%	3.5%	1.17	0.95



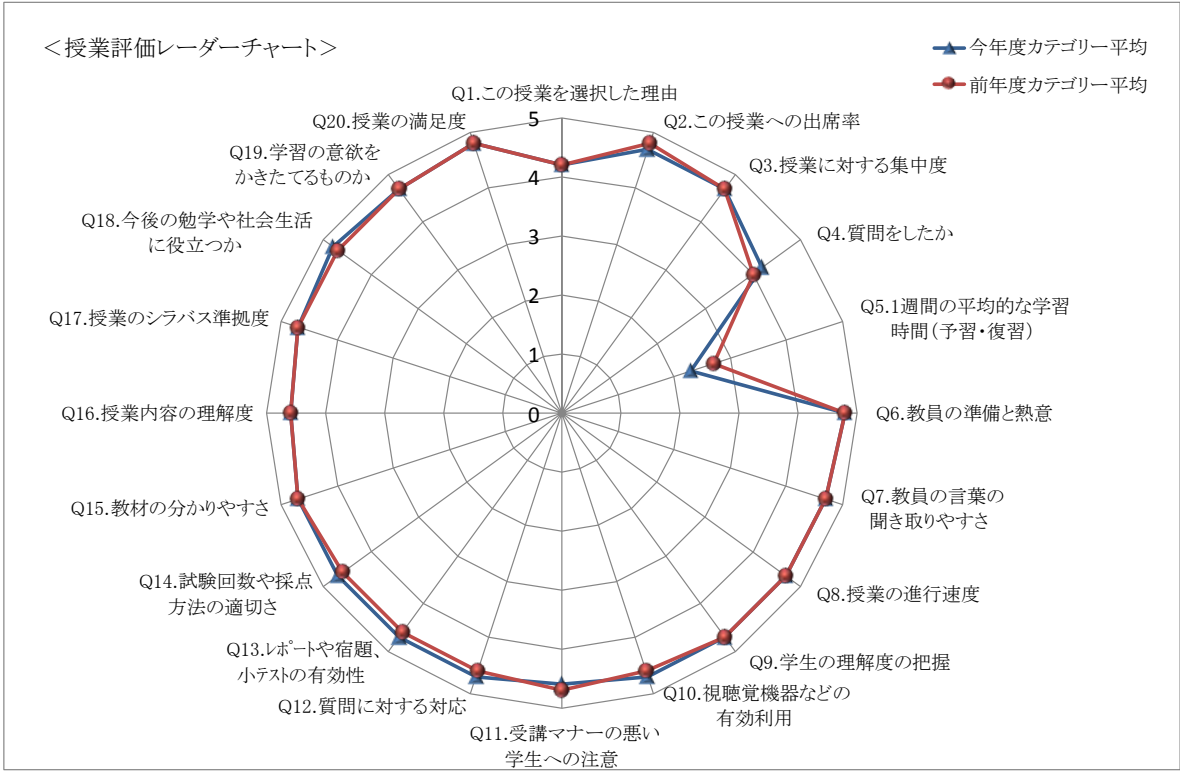
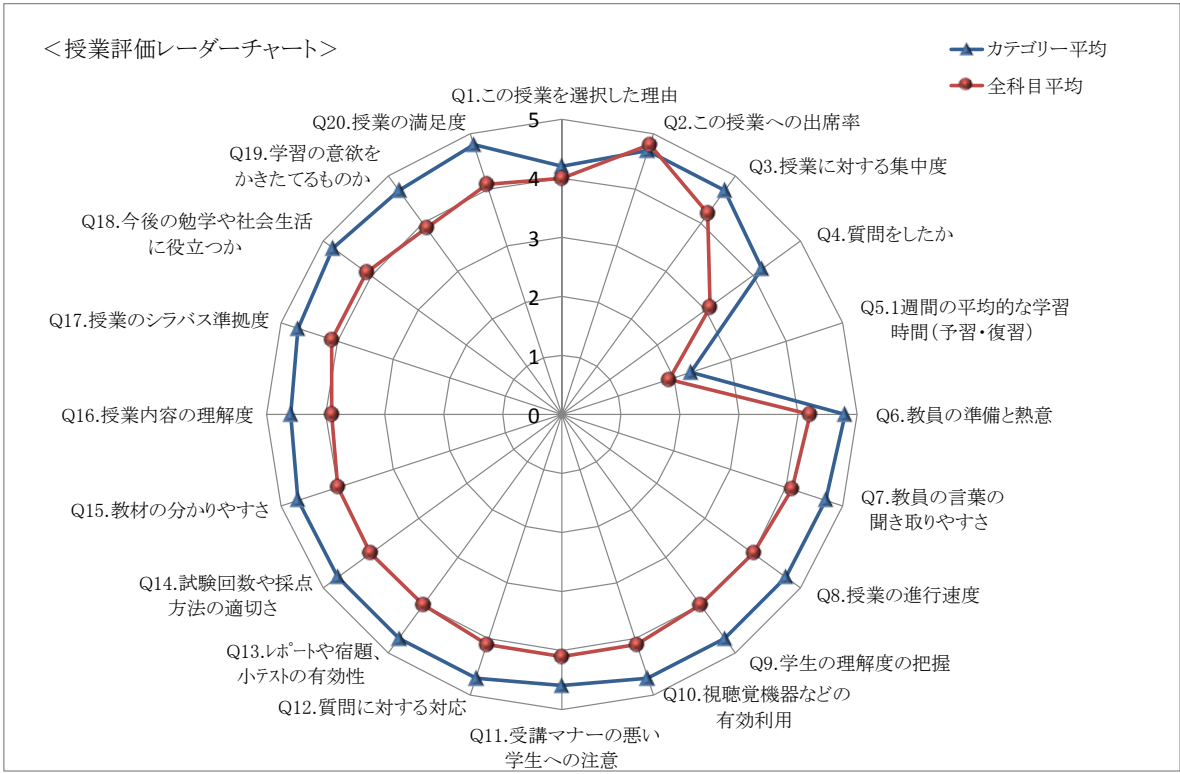
自由記述内容を見ると「Q21. 授業で特に良かった点」では、「説明がわかりやすい」、「サクサク進む上に、わかりやすい」、「過去問を使ったりしたので、資格を取得する場合は良いと」、「公務員の試験勉強になる」といった意見が寄せられました。「Q22. 授業で特に改善してほしい点」では、「スクリーンが見にくいので前の方のみ電気を消してもらえると助かります」、「スピードが早いのと一日にやる量が多い」、「追加でテキストを個人的に買わずなら最初のテキスト購入に全部まとめて欲しい」、「教科書をただ読むだけなのでやり方を変えてほしい」、「テキストが高い…」といった意見・要望がありました。「Q23. その他の意見・要望」では、「授業簡単すぎて資格とれるのか心配」等の意見・要望がありました。

<教職科目に関して>

「教職科目」に関する授業評価の全体的な傾向は「全科目平均」と比較した結果、前年度同様すべての項目において平均を上回る高い評価を得ています。「前年度カテゴリー平均」との比較についても非常に高い評価となっています。ただし、唯一前年度より平均が下がってしまったのが、「Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)」です。下がったとはいえ、全科目平均より多い学習時間を得ているので、年度ごとの学生側の要因もあると思われます。目的意識を持った学生が少人数で受講しているという性格を加味しても、教員の優れた授業実践および自学自習を導く適切な指導が窺われるものです。

「自由記述」は、「ピアヘルパーの資格が学べる」「少人数でみんなと濃く関われる」「教育実習に役立った」など、学生と教員間だけでなく、学生間でのやりとりも、授業の満足度を高めており、共通の目標に向かって切磋琢磨することで成長を実感している様子が窺えます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)							上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	平均	全科平均	
Q1.この授業を選択した理由	36	12	21	0	0	1	4.2	4.0	
	51.4%	17.1%	30.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.88	1.09	
Q2.この授業への出席率	47	22	0	0	0	1	4.7	4.8	
	67.1%	31.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.47	0.48	
Q3.授業に対する集中度	50	19	0	0	0	1	4.7	4.2	
	71.4%	27.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.45	0.82	
Q4.質問をしたか	33	22	10	2	1	2	4.2	3.1	
	47.1%	31.4%	14.3%	2.9%	1.4%	2.9%	0.91	1.36	
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	16	3	3	14	34	0	2.3	1.9	
	22.9%	4.3%	4.3%	20.0%	48.6%	0.0%	1.63	1.31	
Q6.教員の準備と熱意	54	13	2	0	0	1	4.8	4.2	
	77.1%	18.6%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.50	0.88	
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	55	12	3	0	0	0	4.7	4.1	
	78.6%	17.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.53	0.92	
Q8.授業の進行速度	51	17	2	0	0	0	4.7	4.0	
	72.9%	24.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.52	0.91	
Q9.学生の理解度の把握	51	16	2	0	0	1	4.7	4.0	
	72.9%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.51	0.93	
Q10.視聴覚機器などの有効利用	49	18	2	0	0	1	4.7	4.1	
	70.0%	25.7%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.52	0.92	
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	46	21	2	0	0	1	4.6	4.1	
	65.7%	30.0%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.54	0.91	
Q12.質問に対する対応	51	16	1	1	0	1	4.7	4.1	
	72.9%	22.9%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	0.57	0.86	
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	50	16	3	0	0	1	4.7	4.0	
	71.4%	22.9%	4.3%	0.0%	0.0%	1.4%	0.55	0.92	
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	51	18	1	0	0	0	4.7	4.0	
	72.9%	25.7%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48	0.93	
Q15.教材の分かりやすさ	48	19	2	0	0	1	4.7	4.0	
	68.6%	27.1%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.53	0.95	
Q16.授業内容の理解度	46	21	2	0	0	1	4.6	3.9	
	65.7%	30.0%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.54	0.97	
Q17.授業のシラバス準拠度	50	19	1	0	0	0	4.7	4.1	
	71.4%	27.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.49	0.88	
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	54	15	1	0	0	0	4.8	4.1	
	77.1%	21.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.46	0.93	
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	50	18	0	1	0	1	4.7	3.9	
	71.4%	25.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.55	1.01	
Q20.授業の満足度	56	11	2	0	0	1	4.8	4.1	
	80.0%	15.7%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.48	0.95	



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161